

令和 5 年度 事業報告書

横浜市立動物園等指定管理者

1 管理体制

2 運営および経営取組

3 動物の飼育管理

4 施設等の維持管理

5 管理運営経費

令和5年度 横浜市立動物園等 事業報告書 目次

1	総括	6
2	管理体制	6
	(1) 動物園等の管理体制	6
	(2) 人材マネジメントの取組	7
	(3) リスクマネジメントへの対応	11
3	運営および経営の取組	12
	(1) 目標達成状況	12
	(2) マーケティング戦略の展開	14
	(3) 利用者に関りを深めてもらう取組	24
	(4) 動物園マネジメントの取組	27
	(5) 学校教育プログラム	32
4	動物の飼育管理	34
	(1) 飼育現場での取組	34
	(2) 保全に貢献する取組	39
	(3) 調査・研究などに対する取組	46
5	施設等の維持管理	49
	(1) 施設及び設備の維持管理	49
	(2) 園地及び遊具等の維持管理	50
	(3) 施設及び設備等の安全対策	51
6	管理運営経費	51
	(1) 算定の考え方	51
参考資料		
1	広報印刷物実績	52
2	ホームページでの情報発信実績	54
3	寄附を活用した展示場改修等の実績	55
4	学校プログラム実績	56
5	動物園研究会実績	58

指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市緑の協会
所在地	中区日本大通 58 番地 日本大通ビル 2 階（本部）
代表者	理事長 橋本 健
設立年月日	昭和 59 年 10 月 1 日
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日（よこはま動物園、野毛山動物園、万騎が原ちびっこ動物園、金沢動物園ならびに野毛山公園、金沢自然公園）

施設の概要

施設名	所在地	管理対象施設
よこはま動物園	旭区上白根町 1175-1	管理施設、および便益施設
野毛山動物園	西区老松町 63-10	管理施設、および便益施設
野毛山公園（動物園を除く）		
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65-1（こども自然公園内）	管理施設
金沢動物園	金沢区釜利谷東 5-15-1	管理施設、および便益施設
金沢自然公園（動物園を除く）		

動物点数（令和 6 年 3 月 31 日現在）

よこはま動物園	99 種 575 点
野毛山動物園	73 種 1,301 点
万騎が原ちびっこ動物園	3 種 177 点
小計	76 種 1,478 点 ※同じ種を 2 園で飼育（3 種）
金沢動物園	52 種 993 点
合計	195 種 3,046 点

□入園者数（単位：人、カッコ内は前年度比％）

年 度	よこはま動物園	野毛山動物園	万騎が原 ちびっこ動物園	金沢動物園	合計
H11	2,246,476（-）	354,504（75.7%）	133,355（113.2%）	399,049（65.8%）	3,133,384（-）
H12	1,336,842（59.5%）	374,400（105.6%）	126,780（95.1%）	283,051（70.5%）	2,121,073（67.7%）
H13	1,267,011（94.8%）	509,514（136.1%）	143,070（112.8%）	286,170（101.1%）	2,205,765（104.0%）
H14	1,066,189（84.1%）	474,984（93.2%）	126,192（88.2%）	268,841（93.9%）	1,936,206（87.8%）
H15	1,059,479（99.4%）	531,661（111.9%）	158,962（126.0%）	271,463（101.0%）	2,021,565（104.4%）
H16	959,749（90.6%）	449,658（84.6%）	185,484（116.7%）	264,134（97.3%）	1,859,025（92.0%）
H17	1,014,329（105.7%）	497,875（110.7%）	172,911（93.2%）	288,524（109.2%）	1,973,639（106.2%）
H18	1,044,563（103.0%）	542,537（109.0%）	157,654（91.2%）	310,237（107.5%）	2,054,991（104.1%）
H19	1,107,583（106.0%）	547,461（100.9%）	131,037（83.1%）	301,503（97.2%）	2,087,584（101.6%）
H20	1,153,756（104.2%）	577,807（105.5%）	134,547（102.7%）	330,496（109.6%）	2,196,606（105.2%）
H21	1,221,868（105.9%）	680,777（117.8%）	140,678（104.6%）	355,067（107.5%）	2,398,390（109.2%）
H22	978,791（80.1%）	659,759（96.9%）	105,277（81.8%）	316,843（89.2%）	2,060,670（85.9%）
H23	959,231（98.0%）	765,085（115.9%）	128,577（122.1%）	292,333（92.2%）	2,145,226（104.1%）
H24	889,489（92.7%）	992,464（129.7%）	164,733（128.1%）	279,980（95.7%）	2,326,666（108.4%）
H25	920,787（103.5%）	968,855（97.6%）	174,078（105.6%）	284,843（101.7%）	2,348,563（100.9%）
H26	941,781（102.2%）	1,012,000（104.4%）	185,864（106.7%）	285,459（100.2%）	2,425,104（103.2%）
H27	1,216,132（129.1%）	1,095,448（108.2%）	138,266（74.6%）	287,099（100.6%）	2,736,945（112.9%）
H28	1,086,486（89.3%）	844,401（77.1%）	121,509（87.9%）	305,858（106.5%）	2,358,254（86.2%）
H29	1,149,654（105.8%）	721,131（85.4%）	126,563（104.2%）	321,990（105.3%）	2,319,338（98.3%）
H30	1,077,317（93.7%）	638,518（88.5%）	121,219（95.8%）	299,098（92.9%）	2,136,152（92.1%）
R1	982,820（91.2%）	548,927（86.0%）	106,528（88.0%）	246,982（82.6%）	1,885,257（88.3%）
R2	754,247（76.7%）	390,886（71.2%）	34,202（32.1%）	263,224（106.6%）	1,442,559（76.5%）
R3	1,032,780（136.9%）	500,925（128.2%）	65,107（190.4%）	322,346（122.5%）	1,921,158（133.2%）
R4	1,027,968（99.5%）	517,802（103.4%）	64,281（98.7%）	288,689（89.6%）	1,898,740（98.8%）
R5	1,007,874（98.0%）	486,309（93.9%）	48,879（76.0%）	259,242（89.8%）	1,802,304（94.9%）

<新型コロナウイルス感染症拡大による休園等について>

■令和元年度

- ・ 3園：2月29日から3月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休園。

■令和2年度

- ・ 3園：4月1日から6月10日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休園。
よこはま：6月11日から9月6日まで1日当たりの入園者数を先着順により5,000人程度に制限。
- ・ よこはま：9月7日から10月18日まで1日当たりの入園者数を事前予約制（インターネット・電話）により5,000人程度に制限。
- ・ よこはま：10月19日から3月31日平日の事前予約は不要とし、土日祝日は事前予約制（インターネット・電話）により1日当たりの入園者数を8,000人程度に制限。
- ・ 野毛山（万騎が原除く）：6月土日臨時休園。
- ・ 万騎が原：2月15日から3月31日まで工事のため臨時休園。

■令和3年度

- ・ よこはま：4月1日～8月3日まで土日祝日上限8,000人の事前予約制を導入。
- ・ よこはま：8月4日～9月30日まで平日も上限8,000人の事前予約制を導入。
- ・ よこはま：10月1日～11月30日まで平日の事前予約を不要とし、土日祝日のみ上限8,000人の事前予約制を実施。
- ・ よこはま：12月1日～土日祝日の事前予約制をとりやめ、すべての入園について予約不要とする。
- ・ 万騎が原：1月2日～3月21日：管理事務所外壁改修工事のため臨時休園。

■令和4年度

- ・ 引き続き、感染症対策を継続。

■令和5年度

- ・ 3園：5月8日～：新型インフルエンザ等感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類感染症に変更され、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、基本的対処方針（三密回避、ソーシャルディスタンス、マスク着用、手指衛生、換気等）及び業種別ガイドラインが廃止された。これに伴い、動物園内の感染症対策について変更した。国内動物園での新型コロナウイルス感染による飼育動物の死亡事例を踏まえ、一部の動物では引き続き感染防止対策を継続している。

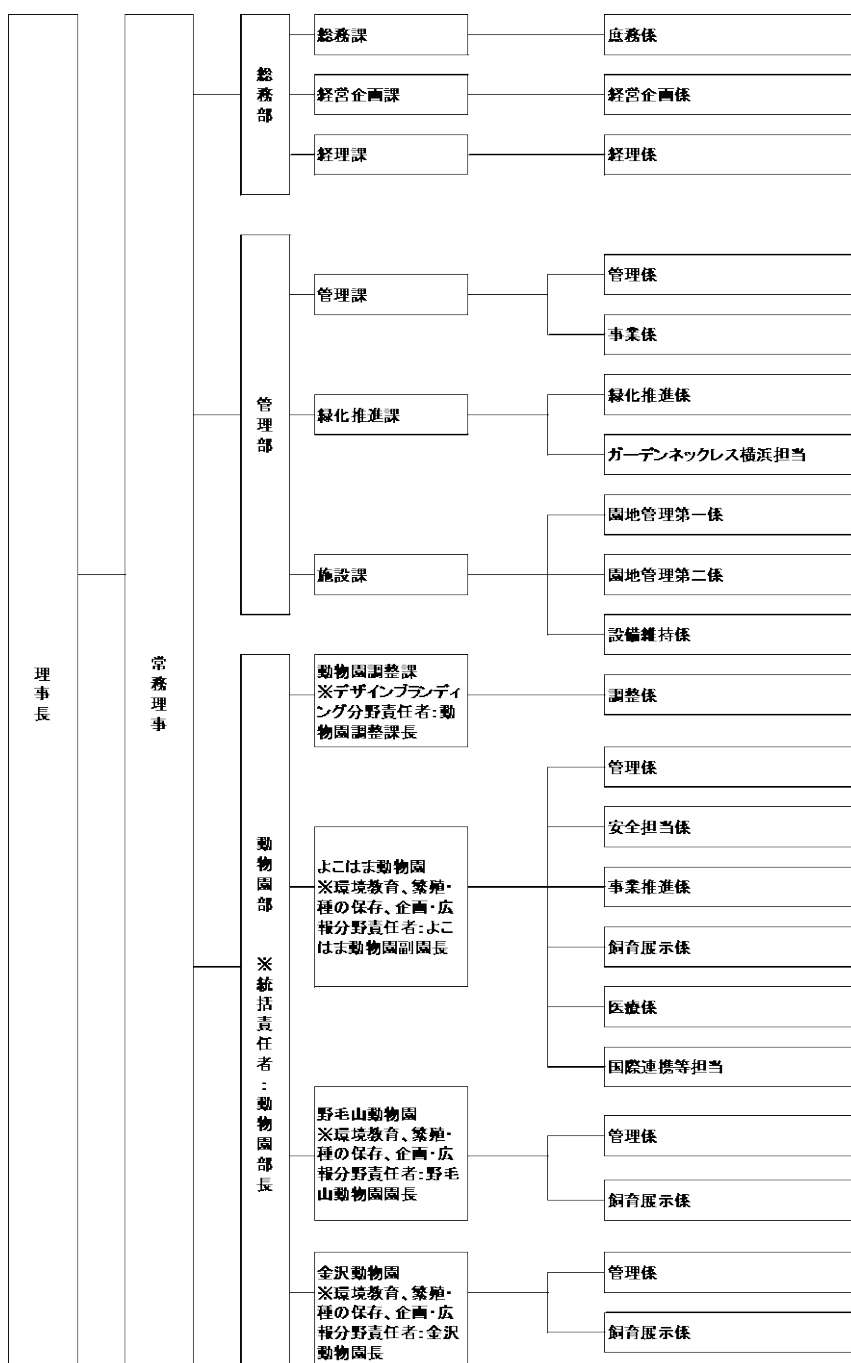
1 総括

令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法状の位置づけが5類に移行したことに伴い、コロナ禍前に近い形で、様々な事業を実施しました。また、令和6年3月には野毛山動物園のリニューアル先行工事が始まり、なかよし広場等一部の園内を封鎖して営業しました。

2 管理体制

(1) 動物園等の管理体制

引き続き、3園の事業統括責任者として動物園部長を配置し、本部、3動物園、横浜市との総合的な調整を動物園調整課が担い、必要に応じて本部役員の判断を受ける事業執行体制としました。また、継続的な体制づくりのため、新たに昇任した2名の動物職の係長を動物園調整課、金沢動物園に配置しました。



コロナ対策の取組

① 来園者に対する取組

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴い、横浜市や各業界のガイドラインが廃止されたため、コロナ禍以前に近い形で事業を実施しました。

② 職員に対する取組

職員向けの対策についても原則廃止しましたが、感受性の高い動物に近接した作業を行う場合等、必要に応じて感染症対策を実施しました。

(2) 人材マネジメントの取組

人材育成ビジョンに基づき、職員に対し育成方針や職種ごとの果たすべき役割を推進しました。引き続き動物職、獣医職等の専門職の育成については、OJT（職場内訓練・教育・研修）およびOff-JT（職場外訓練・教育・研修）を組み合わせる人材育成に取り組むほか、必要な資格の取得を奨励しました。また、将来的なマネジメント層の育成・専門性向上を図るため、中堅職員研修、マーケティング研修、ファンドレイジング研修を実施しました。

① 人材育成基本方針

- ア 職員の「成長実感＝やりがい」を支援する
- イ 職員の能力を向上させ、「自信」を育む
- ウ 「人を育てる組織風土」を醸成し、組織全体の力を高める

② 職種ごとの果たすべき役割（人材育成ビジョンより抜粋）

職種	果たすべき役割
事務	施設の管理運営や文書事務のエキスパートとしての役割を担うとともに、市民や横浜市などのステークホルダーと積極的に対話し、調整します。
造園	利用者が安全に施設利用できるよう定期点検、予防保全を図るとともに、地球環境問題への適応策としての緑化、市民連携、環境教育といった幅広い業務に対応します。
動物・獣医	地球の豊かさを未来につなげる役割を担うとともに、市民や国内外の動物園などのステークホルダーと積極的に対話し、調整を図ることで動物園のプレゼンスを高めます。

③ 研修実施・参加実績

研修や講習への参加のほか、イベントや広報、防災等の展示会に適宜参加し、最新の知見を取得するよう努めました。

<基本研修>

実施日時	研修名	対象者
毎月	情報セキュリティ研修	全職員
8月～10月	普通救命講習 (AED含む)	新採用職員、前回受講から3年経過した者
8月～2月 DVD視聴	CS・接客研修	全職員
8月～2月 DVD視聴	人権啓発研修	全職員

8月～2月 DVD 視聴	個人情報保護研修	全職員
8月～2月 DVD 視聴	ハラスメント研修	管理職
8月～1月 DVD 視聴	メンタルヘルスケア研修	管理職
2月5日	SDGs 研修	各動物園職員
3月8日	安全運転講習	自動車運転従事者
適宜（管理職から職員へ各所属にて実施）	職員向けメンタルヘルスケア研修	全職員

< 専門職研修 >

実施日	研修名	対象者
毎月	楽しく学ぶ動物園学（よこはま動物園園長による講義）	動物職員
毎月	動物園研究会	各動物園職員
6月28日～29日	関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会	動物職員
9月14日	准認定ファンドレイザー必修研修	各動物園職員
9月20日	関東東北・北海道ブロック事務主任者会議	事務職員
10月3日～4日	関東東北・北海道ブロック動物園水族館合同技術者研究会（サンシャイン）	動物職員
10月23日～24日 11月9日～10日	油等汚染事故対策水鳥救護研修（現地研修）	動物職員
10月27日～29日	種の保存会議	各動物園職員
11月27日～29日	2023 Master Planning and Zoo Design Conference (Taipei/Zoom)	動物職員・施設職員
12月～3月	WILD ABOUT WELFARE E-Learning（※WILD WELFARE 主催）	動物職員
12月1日	JAZA 高病原性鳥インフルエンザ研修会（Zoom）	動物職員
12月6日、13日	野生動物保護研修（モウコノウマの保全）	各動物園職員
12月26日	JAZA 動物園水族館法勉強会（Zoom）	動物職員
1月18日～19日	動物園参加型研修会	動物職員
1月23日～25日	動物園技術者研究会	動物職員
1月26日（Zoom） 3月1日～30日（後日動画視聴）	JAZA 安全研修会	動物職員
2月（適宜）	ヒヤリハット研修	動物職員
2月14日～15日	関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会	動物職員
2月20日	JAZA 動物福祉研究部シンポジウム（Zoom）	動物職員
2月29日	JAZA 栄養シンポジウム（Zoom）	動物職員

3月7日	関東東北・北海道ブロック動物園飼育係研修会	動物職員
------	-----------------------	------

※WILD WELFARE とは

動物飼育施設を専門技術でサポートする NGO。飼育下動物の動物福祉水準の向上のため、世界動物園水族館協会（以下「WAZA」という。）と連携している。

<階層別研修>

実施日	研修名	対象者
4月1日～4日の内 2日間	新採用飼育・ガイド研修	新採用動物・獣医職員
4月14日	新任管理職研修	新採用管理職（係長）
9月28日	マーケティング研修（ブランディングとは）	指定管理提案書作業部会員
12月8日、15日	管理職研修	管理職（係長、課長補佐）
12月8日、15日	管理職研修	管理職（課長職）
12月12日	中堅職員研修	総合職Ⅱ採用7年目職員
2月13日、14日	若手職員研修	総合職Ⅱ採用5年未満の動物職員

<MBO（目標管理制度）>

各園の目標を職員が共有し、職員一人一人が上司と相談しながら各園の目標達成に向けた自らの年間目標を設定し、進捗管理を行いました。業務改善や目標の達成に向けて自ら取り組むことで、職員のモチベーション向上を図っています。

④ 資格取得の奨励

（公社）日本動物園水族館協会（以下、「日動水」という。）の飼育技師上級試験に新たに6名が合格しました。また、業務を安全に遂行するため、54名が様々な資格を取得しました。

【資格取得実績】

資格名	取得目的	取得人数
飼育技師	職員（動物職）の資質向上のため （日動水加盟園館在籍2年以上）	4名（よ）、3名（野）、2名（金）
飼育技師（上級）	職員（動物職）の資質向上のため （飼育技師を有し、日動水加盟園館在籍10年以上）	2名（よ）、4名（金）
フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育	獣舎清掃に必要なため	1名（よ）
刈払機取扱作業従事者安全衛生教育	展示場及び公園内の除草に必要なため	6名（よ）、1名（野）、1名（金）
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	止まり木のメンテナンス等高所での作業に必要なため	2名（よ）
伐木作業の業務に係る特別教育	止まり木の交換作業等に必要なため	6名（野）
振動工具特別教育	飼育環境整備に必要なため	8名（よ）

丸のこ等取扱い作業従事者に対する安全衛生教育	飼育環境整備に必要なため	2名（よ）、1名（金）
小型車両系建設機械運転の特別教育（ボブキャット）	飼育環境整備に必要なため	1名（よ）
チェーンソー特別教育	飼育環境整備に必要なため	4名（よ）
第三級陸上特殊無線技士	飼育環境整備に必要なため	2名（よ）
玉掛け技能講習	飼育環境整備に必要なため	1名（金）
ロープ高所作業特別教育	飼育環境整備に必要なため	1名（金）
公園管理運営士更新	公園管理に必要なため	2名（金）

⑤ 安定的な雇用と技術継承への取組

令和4年度の退職者の補充等として、2名を係長に昇任させるとともに新たに3名の職員を採用し、若年層を補強しました。また、若手職員への技術継承にもOJTを通じて取り組みました。

【主な技術継承への取組の一例】

動物園	取組の一例
よこはま	ゾウ飼育担当職員に対し、マニュアルにそって育成を実施。
野毛山	全職員に対し、担当班内の代々番体制構築に向けた実践研修を実施。
金沢	ゾウ及びコアアラ飼育担当職員に対し、マニュアルにそって育成を実施。

⑥ 良好な職場環境作りへの取組

職員が安全に業務に取り組めるよう、健康管理・職場環境の向上に努めました。また、横浜健康経営認証^{*}において新たに上位認証である「クラスAA」を取得し、外部講師による健康講習会等を実施しました。

【健康管理・職場環境づくり実績】

項目名	実施日
予防接種（破傷風、B型肝炎）	5月～12月
定期健康診断	7月～12月
健康講習会（安全衛生委員が代表して受講）	11月
特定業務従事者健康診断（レントゲン、滅菌、潜水作業等）	年2回
安全衛生委員会（よこはま）	毎月1回
コロナ感染防止対策の実施（手指消毒薬の設置、共用部分の消毒、定期的な換気等）	常時
公用車へのドライブレコーダー取り付け	常時
衛生推進委員会（野毛山・金沢）	適宜

※横浜健康経営認証とは

職員の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」に取り組む事業所を外部委員で構成される委員会にて審査、横浜市長が認証する制度（健康福祉局保健事業課所管事業）。

⑦ 女性の活躍推進に関する取組

厚生労働省が定める、女性の職業生活における活躍の状況に関する実績に係る基準の5項目全てを満たし、実施状況を女性の活躍推進企業データベースに毎年公表していることから「えるぼし（3つ星）」の認定を受けました。最上位であるプラチナえるぼしの認定を目指し、今後も女性が活躍し働きやすい職場作りに取り組んでいきます。

(3) リスクマネジメントへの対応

動物園の防災マニュアルに基づき、防災訓練等を行ったほか、動物の逸走を想定した捕獲訓練を実施しました。また、気象警報の発生時には、マニュアルに基づく特別巡視を行い、被害状況の確認、危険個所の封鎖等の安全措置を講じた上で、早期復旧に努めました。

【訓練実施実績】

< 情報受伝達訓練（当団体全体） >

実施日	令和5年9月21日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、約300名
訓練内容	午前11時に、横浜市域で震度5強の地震が発生した想定の下で、情報受伝達訓練を実施。職員の被災・出勤状況の把握、園内の被災状況を調査し、動物園調整課に情報を集約し、各種被災状況を協会本部総務課へ報告した。

< 防災訓練 >

実施日	よこはま：令和5年10月19日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、35名
訓練内容	旭消防署都岡出張所の協力を得て、防災訓練を実施した。所長から防災について講和を受け、訓練では炎に見立てたプレートに向かい放水する消火訓練や、火災現場内を想定した煙体験、屋内消火栓を使用したホースの接続や操作を体験した。

実施日	野毛山：令和5年9月26日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、万騎が原委託業者スタッフ、来園者 90名
訓練内容	実施前のHPや園内掲示物による告知、当日のチラシや園内放送により来園者の方の協力も仰ぎ、横浜市内に震度6弱の地震が発生した想定の下、広域避難場所である野毛山公園への来園者避難誘導訓練を行った。万騎が原分園では、同時刻にシミュレーションにて避難誘導を行い、本園に有線電話にて報告する形で行った。

実施日	金沢：令和5年12月5日、11日
参加人数	金沢消防署釜利谷出張所長1名、消防団6名、当団体職員16名、委託業者スタッフ13名

訓練内容	金沢消防署釜利谷出張所の協力の下、初期消火訓練を実施した。 煙幕発生器を使用した煙体験、水消火器による消火訓練。園内に常設の散水栓を使用した放水訓練を行い、消防署長から火災時の対応について講話を受けた。
------	--

<動物逃亡捕獲訓練実施実績>

実施日	よこはま：令和6年3月12日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ 約100名
訓練内容	横浜市域で大規模な地震が発生した想定の下で、ゴールデンターキン逃亡時の避難誘導・動物捕獲の訓練を実施した。また、捕獲用具等の使用確認を行った。

実施日	野毛山：令和6年2月26日
参加人数	当団体職員 20名
訓練内容	過去の事例で実際に対応した方法を若手職員と共有し、獣舎構造等も把握し、有事の際のイメージを実感してもらうことを目的とし、過去の事例の事故報告書と獣舎図面等を参照しながら、初動対応や準備する道具、捕獲方法について検証し、机上にて適切な捕獲方法等を確認し合う訓練を実施した。

実施日	金沢：令和6年3月4日
参加人数	当団体職員 25名
訓練内容	アラビアオリックスが水モートに落下した想定のもと、避難誘導及び動物捕獲訓練を実施した。その他、捕獲用具点検を実施した。

3 運営および経営の取組

(1) 目標達成状況

①入園者数

GW期間中、天候に恵まれず昨年度より入園者数が伸び悩んだことや、7月～9月の平均気温の上昇による連日の猛暑のため日中の来園者数が減ったこと、コロナ禍前後のレジャーの分散化、多様化により目標入園者数には届かなかったものの、よこはま動物園では3年連続で100万人を超えるお客様に来園いただきました。

園名	目標入園者数	令和5年度入園者数 (目標達成率)
よこはま	1,250,000人	1,007,874人(80.6%)
野毛山	700,000人	489,309人(69.9%)
金沢	330,000人	259,242人(78.6%)

②種の保存（国際的な繁殖計画への参画・連携数）

生息域外保全施設として動物福祉に配慮しながら、動物の移動や繁殖等の飼育管理により、飼育下個体群の遺伝的多様性の保持に努めました。感染症や法的規制で海外からの収集が困難になることを見据え、下記の取組概要のとおり目標達成に向け、2段階に分けた取組を進めました。

目標	セスジキノボリカンガルー・レッサーパンダ等 10 種について、国際的な繁殖計画へ参画・連携する。
取組概要	<p><ペアリングを行い繁殖に向け重点的に取り組む種> 5 種</p> <p>① セスジキノボリカンガルー (GSMP) : ペアリングを実施 (達成)</p> <p>② レッサーパンダ (GSMP) : 繁殖子 1 頭を国内動物園へ移動。ファウンダーのペアリングを実施 (達成)</p> <p>③ オカピ (SSP) : ペアリングを実施し、現在妊娠中。</p> <p>④ スマトラトラ (GSMP) : メス 1 頭を国内動物園に搬出し、オス 1 頭を国内動物園より導入。(達成)</p> <p>⑤ ヤブイヌ (EEP) : ペアリングを実施 (達成)</p> <p><累代繁殖を継続するため、海外との収集、交流に取り組む種> 5 種</p> <p>⑥ テングザル : 2 年の飼育委任についてインドネシア大使館と覚書を締結。原契約の更新については調整継続中 (達成)</p> <p>⑦ コアラ (アンバサダー契約) : アンバサダー契約に基づき、導入した新規個体も含めた飼育報告の提出や個体導入に向けた継続的な調整を実施 (達成)</p> <p>⑧ インドライオン : シンガポールからのオス・メス各 1 頭を導入 (達成)</p> <p>⑨ ユーラシアカワウソ : ポーランドから新規個体導入について調整継続中 (継続)</p> <p>⑩ ヘサキリクガメ : コロナ禍で停滞しているものの、国際血統登録者 (兼 EEP 調整者) およびカーディフ大学 (イギリス) と協力して遺伝子解析の実施に向けた調整を実施 (継続)</p>

*GSMP : 世界動物園水族館協会 (WAZA) が策定する国際種管理計画

*SSP : 北米動物園水族館協会 (AZA) が策定する種保存計画

*EEP : 欧州動物園水族館協会 (EAZA) が策定する欧州絶滅危惧種計画

③ 学校教育プログラムの改善

プログラムの改廃により 27 種のプログラムを実施し、目標 3 件に対し、5 件のプログラム内容を改善しました。

目標	学校等の団体に 27 種の学校教育プログラムを実施し、これらプログラムについての改善を 3 件以上行うこととする。
取組概要	<p>① 中学生以上向けのプログラム「レッツスタディズーラシア」にて、要望のあった「動物園の概要」を追加した。(よこはま)</p> <p>② 通常プログラムに無い「動物のほねときん肉」(出張プログラム)、「どうぶつ赤ちゃん」(来園プログラム)を学校のニーズに合わせて対応した。R6 年度に向けて新規に通常プログラムに組み込むための準備をした。(野毛山)</p> <p>③ 職業インタビューにおいて動物園での SDGs に関する内容が求められたため、動物園の取り組みの内容を改定した。(野毛山)</p> <p>④ 「ゾウのトレーニングガイド」を廃止し、環境エンリッチメントや飼育の工夫、動物福祉の取組を伝える「ゾウの健康大作戦！ガイド」を新規実施(金沢)</p> <p>⑤ 動物園の社会的役割やゾウの飼育方法を題材に、動物園での SDGs の取り組みを伝える「どうぶつと SDGs」を新規で実施した。(金沢)</p> <p>その他、引き続き学校の要望に応じて、オンライン等非接触でのプログラムを随時実施した。</p>

(2) マーケティング戦略の展開

未来の世代に、より豊かな地球環境を残していけるように、動物園が持つ4つの役割を3動物園それぞれが持つ特徴に沿った形で果たし、多くの方々と一緒に野生動物とその生息環境を知り、考え、学び、そして行動することで自然と共生できる社会を作ることを目指し、より多くの皆さまに来園していただくため広報集客活動に取り組みました。

また、動物園への関心をより深めることで、動物園に支援をいただけるよう努めました。

① 令和5年度3園の入園者分析

園名	入園者分析
よこはま	「生命の共生・自然との調和」を感じられる動物園として広い地域にPRできるよう、SNSによる情報発信を強化しました。また、利用者アンケートでは、他2園と違い、横浜市内だけでなく神奈川県内や東京都、他の都道府県からも広く来園されていることから、相鉄・東急直通線など沿線（東京・神奈川県東部方面）への広報活動を行いました。また、相鉄グループとイベントやスタンプラリーなどの回遊を連携して行うことで、広域からの誘客を図りました。
野毛山	「誰もが気軽に訪れ、楽しめ、小さな子どもが動物にふれあい、命を感じられる動物園」のコンセプトのもと、教育普及面では学校団体や近隣図書館との連携を行いました。また、駅からの徒歩での利用が他2園と比べ多いことから、地元商店街やみなとみらい地域施設との連携や横浜市のみなとみらい地区連携イベントへの協力等により、周辺地域と連携した誘客を図りました。
金沢	利用者アンケートでは、半数以上が市内（特に金沢区、戸塚区）からの来園であったことから、近隣の地域商店街、近隣施設、企業等との連携を促進しながら、企画の実施、SNS等による情報発信を積極的に行いました。また、新規でおでかけサイト「いこーよ」等のWEB広告も利用し、関東エリアとファミリー層をターゲットとし誘客を図りました。 横浜市の環境保全教育の拠点としてPRできるよう、SDGs、生物多様性、身近ないきものをテーマに企画を計画・実施し、金沢動物園の認知度、利用の促進につなげました。

② 潜在的な来園者を想定した来園者増の取組

来園されたことのないお客様の来園を促すため、広報活動、民間事業者との連携活動を通じての認知度の向上を図りました。

ア 目標達成状況

広報活動に関する目標達成状況については、以下の通りでした。

種別	媒体	令和5年度目標および実績	
直接 広報	ポスター、チラシ、ホームページ、SNS等 (P.15~P.17参照)	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ポスター制作：4回 ホームページイベント特設サイト制作：1回
		実 績	<ul style="list-style-type: none"> ポスター制作：5回（春1、夏2、秋1、冬1） ホームページイベント特設サイト制作：1回（よ1） 学校チラシ：1回（266,000枚配布）

間接 広報	記者発表、雑誌、市・ 区広報紙、web (P. 16 参照)	目 標	メディア掲載件数：1,000 件
		実 績	797 件 テレビ・ラジオ：164 件（よ 102 件、野 20 件、金 42 件）、 インターネット、新聞、雑誌、広報誌、フリーペーパー 等：633 件（よ 432 件、野 59 件、金 142 件） ※令和 4 年度より掲載件数の算出方法を 1 社掲載につき 1 件に変更した。（従前は、1 社が複数掲載した場合は 複数件としていた。
広域 広報	SNS でのキャンペーン (P. 16～P. 18 参照)	目 標	各園 1 回
		実 績	4 回（よ 1、野 2、金 1）

イ 直接広報

(ア) 看板類の掲出

各園の利用者層やエリアに合わせて様々な媒体・方法で広告・宣伝活動を行いました。よこはま動物園では、駅に掲出している看板の意匠変更を行いました。金沢動物園では、新規で京急バス車体広告を掲出しました。

【主な看板類等掲出状況】

園名	掲出場所
よこはま	横浜駅（相鉄線）、鶴ヶ峰駅（相鉄線）、三ツ境駅（相鉄線）、中山駅（グリーンライン・JR）、日吉駅（グリーンライン）、新横浜（ブルーライン・ST 線）等。
野毛山	動物園通りバナーフラッグ、野毛山商店街、野毛山動物園前バス停前・野毛坂中間の三園掲示板、野毛ちかみち掲示板、ぶらり野毛山 BUS 等でのポスター掲出。野毛山商店街連携でのデジタルサイネージ放映（野毛ちかみち）等。
金沢	関東学院大学・すずらん商店街との共同バナーフラッグ（すずらん商店街）、大型看板（金沢文庫駅ホーム）、ホームベンチ看板（洋光台駅ホーム）、バナーフラッグ（ふれあい商店街）、京急バス車体広告（能見台・金沢文庫エリア 7 台）等。

(イ) 広告の出稿

イベント情報や施設情報について、効果的な情報発信を行うため、有料広告の出稿を行いました。引き続き横浜市営バス（ぶらり野毛山 BUS）への 3 動物園のポスターを季節ごとに掲出するとともに、夜のどうぶつえんの実施に合わせて、東急線の車内ビジョンやみなとみらい周遊バスの車内デジタルサイネージなど複数の媒体を組み合わせた PR を実施しました。また、金沢動物園では新たに新規でおでかけサイト「いこーよ」の WEB 広告を活用し、関東エリアとファミリー層をターゲットとした誘客を測りました。その他、春の行楽シーズンの誘客のため、子育て世代をターゲットにしたインスタグラム広告を展開し、多くのユーザーに動物園の PR をしました。

【広告出稿実績】

園名	媒体名	内 容
3 園	横浜市営バス	季節のイベント情報
	東急線車内ビジョン (TOQ)	よこはま夜の動物園 PR
	みなとみらい周遊バス車内サイネージ	よこはま夜の動物園 PR
	レッツエンジョイ東京 (WEB)	よこはま夜の動物園 PR
	横浜駅南北連絡通路	よこはま夜の動物園 PR
	インスタグラム	春のお出かけ喚起
よこはま	相鉄トレインビジョン	よこはま夜の動物園 PR
金沢	おでかけサイト「いこーよ」WEB 広告	ファミリー層をターゲットとしたイベント情報、施設紹介

(ウ) 各種広報印刷物（ポスター、チラシ、リーフレット等）の制作、配布、掲出
 3 動物園ではポスター等において、FSC 認証紙やベジタブルインクなどを使用し、環境に配慮し、制作・掲出した。野毛山動物園では、リニューアル工事に伴い、園内マップのデザイン更新を行った。※実績については参考資料 P. 53～P. 54 を参照

(エ) ホームページ、SNS の活用

ホームページやブログでは、積極的に最新情報を発信し、動物園の理解促進につなげました。

SNS (Facebook、X (旧 Twitter)、Instagram)、動画共有サイト (YouTube) を利用し、イベント情報や飼育動物についての情報等をタイムリーに発信し、情報の拡散につなげました。特にXにおいてキャンペーンを実施し、認知度向上と来園促進につなげました。

【ホームページアクセス件数】

園名	令和 5 年度	前年度比
3 園合計	3, 898, 695 件	+163, 436 件

【ブログでの情報発信・閲覧件数】

		令和 5 年度	前年度比
3 園合計	発信件数	1, 052 件	-144 件
	閲覧件数	2, 762, 038 件	+76, 602 件

【SNS キャンペーン実績】

園名	概要
よこはま	クラウドファンディングと連動して実施し、期間中（4月29日～6月30日）に132件の発信をしました。寄附金の目標金額達成とともに市内外へのアピールにつながりました。
野毛山	世界キリンの日に合わせ3園でSNSリレーを実施しました。また、ヘサキリクガメ、コアリクイの誕生をタイムリーに発信し、チンパンジーの子どもたちの成長を記

	<p>載した「チンパン便」やシマウマの「しましま便」等シリーズ化して投稿することでフォロワーの獲得や情報の拡散に努めました。</p> <p>2月開催、ライオン「ラージャー」の誕生日会の企画として、「ラージャー」への誕生日メッセージをXにて募集しました。一週間の募集期間で、40件のメッセージをいただきました。</p>
金沢	<p>12月～1月のホリデーシーズンにX上にて金沢動物園で撮影した写真やイラストを使ったグリーティングカードを募集し、応募された48作品を園内掲示しました。応募者全員にDMにて金沢動物園公式アカウントから特製グリーティングカード画像を返送しました。「展示を見に行こう」、「グリーティングカードをもらえるからやろう」という呼びかけなど園の認知度アップ、集客につながる利用者からのコメントが見られました。</p>

ウ 間接広報

(ア) プレスリリースを中心とした積極的なパブリシティ活動

積極的・効果的なプレスリリースを行い、テレビ・新聞をはじめとする多様な媒体に向けパブリシティを活用しました。また、新たにPRTIMESの活用を始め、インターネット媒体への情報発信を増やしました。

【プレスリリース件数】

	記者発表件数（前年度比）	メディア掲載件数（前年度比）
3園合計	67件（+5件）	797件（+327件）

<反響の大きかった記事>

園名	概要
よこはま	令和5年5月、10月に誕生したフランソワルトン、チンパンジーについてテレビや雑誌等で多く取り上げられました。
野毛山	令和5年6月に誕生したミナミコアクリイの赤ちゃんや、令和6年1月に老衰で死亡したチンパンジー「ピーコ」に対し大きな反響がありました。
金沢	令和5年5月・6月にオオツノヒツジ、令和5年8月・10月にオオカンガルーが繁殖し、記者発表などの成果もあり、各メディアに取り上げられました。

(イ) 当団体広報誌、行政広報紙等への掲載

当団体が年4回発行し、管理運営する公園やその他関係施設において配布を行う季刊誌「みどり」に年間を通じて動物園情報を掲載しました。また、3園ともに、「広報よこはま」やタウン紙への情報提供を継続的に行いました。

【行政広報紙への掲載実績】

園名	概要
よこはま	広報よこはま旭区、緑区、瀬谷区、都筑区、泉区、戸塚区、神奈川区版にて情報を毎月掲載しました。
野毛山	横浜市のガーデンネックレス関係の広報物に野毛山公園のバラの情報を掲載。また、リニューアルに関する配布物など横浜市へ協力しました。

	タウンニュースにインドシナウォータードラゴンの展示や、チンパンジー「コウタロウ」の赤い羽根共同募金 PR 大使就任の情報が掲載されました。
金沢	広報よこはま金沢区、戸塚区版へ情報掲載しました。タウンニュースからは取材件数も多く、頻繁に掲載されました。

エ 園外 PR・地域連携活動

近隣地域を中心に、動物園外において実施されるイベント等に協力することで動物園の PR を積極的に行い、来園促進に取り組みました。

【主な園外 PR・地域連携活動実績】

(ア) よこはま

実施日	連携先	取組概要・実績
(3月25日)～5月7日、9月16日～10月15日、3月23日～(5月6日)	里山ガーデンフェスタ	パネル展や身近な鳥類に関する解説、入園料の割引により、来園促進につなげました。 里山ガーデンからの割引利用来園者：R5春2,283名、秋：1,450名、R6春109名
8月5日～8月27日、3月1日～(4月26日)	【新規】ジョイナステラス二俣川 相鉄ライフ三ツ境	相鉄線沿線施設と連携事業「相鉄線沿線 ZOO まつり」を実施し、相互 PR や利用促進につなげました。
8月30日～9月5日	【新規】京急百貨店 上大岡店	第11回小鳥のアートフェスタ in 横浜／わくわく野鳥博においてパネル展や講演会を実施しました。
9月16日～10月15日	横浜四季の森フォレオ	園内で実施している企画（村田園長が園内で撮影した写真について紹介するパネル展）に連動して写真展と園の紹介をするパネル展を実施しました。
11月3日、25日	中山商店街、港北区	区民・地域の祭りで園外 PR を実施しました（10月の旭区、緑区祭りは悪天候のため、中止・縮小開催）。

(イ) 野毛山

実施日	連携先	取組概要
4月29日～5月5日	【新規】横浜市役所	ゴールデンウィークに横浜市役所アトリウムでこどもデーを開催、どうぶつクイズラリー等で横浜市と連携して実施しました。
7月1日～3月31日	【新規】横浜市南区こども家庭支援課	課内待合スペースのモニターに、誕生した動物の赤ちゃんを紹介する映像を放映しました。

7月5日～7月23日	【新規】桜木町駅、ランドマーク含む近隣施設	「横浜みなとぶらりデジタルスタンプラリー」を実施し、駅を含む近隣20施設で実施しました。
7月21日～8月31日	神奈川県立歴史博物館含む近隣博物館	「ミュージアムミッション2023」を実施しました。参加人数は4,041名。
10月1日～3月31日	横浜市社会福祉協議会	共同募金PR大使に就任したチンパンジーのバッジを寄附者に配布(約450件)することにより、募金と来園促進につなげました。
1月15日～2月15日	横浜市中央図書館	令和4年度に戸部小学校と協力して作成した「野毛山アニマルずかん」のパネル及び図書館が所蔵する関連資料、動物園の広報印刷物を展示することで、動物の生態・飼育への興味関心を喚起しました。

(ウ) 金沢

実施日	連携先	取組概要
通年 (ポスターは季節ごとに適宜交換)	ビアレ横浜	ビアレ横浜の渡り廊下に動物写真や季節のポスターを掲出し、園のPRにつなげました。
8月11日～9月2日	学校法人トキワ松学園 横浜美術大学	包括締結協定を締結している横浜美術大学のプロダクトデザインコースの学生が製作した竹灯籠をナイト金沢ZOOにて展示しました。
10月21日	金沢区役所	金沢区民まつりいきいきフェスタにブース出展しました。
11月25日、26日	【新規】三井アウトレットパーク横浜ベイサイド	「金沢動物園が海辺へやってくる」で、動物パネル、派生物展示、クイズ大会を実施しました。
1月20日	横浜金沢観光協会	海の公園どんど焼きにブース出展しました。どんど焼きには金沢自然公園で間伐した竹を活用しました。
2月9日～2月25日	【新規】金沢図書館	「絵本の動物に会いに行こう！」で、パネル展、おはなし会(2/23)、ゾウの観察会(2/24)を実施しました。
2月20日	【新規】横浜市スポーツ協会	はつらつキンダーフェスタ2024にブース出展しました。
3月30日	【新規】横浜シーサイドライン	シーサイドラインフェスタ2024にブース出展しました。

オ 団体利用者等の誘致活動

学校団体の誘致や前売券契約、福利厚生団体等との契約を行い、来園促進を図りました。

【学校団体入園者数状況】

園名	区分	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高校	計
よこはま	団体数	443	422	48	67	980
	人数	31,242	42,988	2,138	1,885	78,253
野毛山	団体数	249	183	13	5	450
	人数	15,146	16,543	753	443	32,885
金沢	団体数	186	143	8	1	338
	人数	11,054	13,789	554	230	25,627
計	団体数	878	748	69	73	1,768
	人数	57,442	73,320	3,445	2,558	136,765

【前売券入園数状況】

名称	割引率	実施期間	よこはま (人)	金沢 (人)
コンビニ等	なし	通年	53,941	1,936
ホテル等	1割引		405	—
協賛企業向け	2割引		4,385	—
計			58,731	1,936

【よこはま動物園、金沢動物園福利厚生団体誘致状況】

名称	割引率	実施期間	人数(名)
新聞社(読売)	特殊契約	通年	1,169
福利厚生	2割引		14,466
提携企業会員カード	2割引		90,600
計			106,235

カ 民間事業者との連携

(ア) KDDI (株) との連携 (よこはま・継続)

スマートフォン向けアプリ「one zoo」のサービス終了に伴い、新たに「one zoo 公式 YouTube チャンネル」及び「au 5 G チャンネル」の映像提供サービスにて動物園のPRを図りました。

(イ) ららぽーと横浜、ららぽーと海老名 (よこはま・継続)

よこはま動物園の当日入園券を提示すると、ららぽーと横浜、海老名限定お買物・お食事券 500 円分をプレゼントする企画を実施し、2 店舗合計で 601 名の参加がありました。

(ウ) 学校法人トキワ松学園 横浜美術大学 (金沢・継続)

包括連携協定を締結している横浜美術大学のプロダクトデザインコースの学生

が製作した竹灯籠を金沢動物園のナイト金沢 ZOO にて展示しました。(再掲)

(エ) 株式会社そごう・西武 (金沢・新規)

そごう横浜店が 2024 年年始に実施した「そごうの福袋〈新春応募抽選福袋〉」に SDG s をテーマとした体験学習企画を製作・実施しました。10 組 20 名の枠に対し 177 件の応募がありました。福袋の新聞折り込みチラシなどを通じて園の PR をすることができました。

(オ) 株式会社ロッテ (金沢・新規)

ロッテ「固有種のマーチ」(コアラのマーチの特別バージョン)と連携して、固有種の探検隊 in 金沢動物園スタンプラリーと、オリジナルの固有種図鑑を作成するワークショップを開催しました。ワークショップに 66 名、スタンプラリーに 2,951 名の参加があり、多くの来園者に固有種について楽しく学んでいただくことができました。

(カ) ENECHANGE 株式会社 (よこはま、金沢・新規)

お客様用駐車場に EV 用普通充電器を 2 台ずつ設置し、1 月 26 日から供用を開始しました。これにより、動物園を楽しむ間に EV 等への充電ができるようになり、利便性向上を図りました。

(キ) ウエイズグループ (よこはま、新規)

より多くの来園者に動物園にご来園いただき、希少動物の保護や様々な環境問題への理解を深めていただくため、無料招待デーを開催しました。来園者人数は 6,241 名、そのうち、スタンプラリー参加者は約 5,300 名、ウエイズドル企画(空のペットボトルを持参していただきウエイズドルと交換、指定の動物に支援いただくことで、後日ウエイズグループより実績に応じた寄附が協会にされる企画)には 170 名と多くの方々にご参加いただきました。

③ 動物園により深くかかわる利用者を増やす取組

動物園が果たすべき役割(種の保存、調査研究、環境教育、レクリエーション)を多くの方々に知っていただき、ご支援・ご協力いただけるよう取り組みました。

※寄附を活用した取組みの実績は、P. 23 参照

ア 潜在的寄附者を増やす取組

動物園の活動を多くの方々に知ってもらうため、SNS での情報発信、キャンペーン等の実施により認知度の向上を図り、フォロワーの獲得に努めました。また、よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポートのデザインを新しくし、リピーターの拡大に努めました。

イ 新規の寄附者を増やす取組

保全意識向上を図るプログラムの実施や、横浜市動物園友の会の運営、ボランティア活動支援(P. 31)を行うことで、動物園への理解者を増やしました。令和 5 年度は新たに 3 園を 3 ヶ月かけて飼育員と一緒に周り、それぞれの園の特徴や魅

力を学ぶ大人向けプログラム「魅力発見！動物園巡り」を有料で実施し、継続的な支援者となっただけのような機会を設けました（参加者のべ57名）。

また、野毛山動物園では、園の管理運営の向上に活用するため、園内に募金箱を設置して来園者から7,473,661円（前年度115.6%）の寄附をいただきました。いただいた寄附は、ひだまり広場の休憩用テーブル・ベンチの購入に活用しました。

【横浜市動物園友の会 会員件数】

会員種別	会員件数	
	令和5年度	前年度比
家族会員	147	+2
大人会員	260	+2
小人会員	7	±0
賛助会員	5	+2
計	419	+6

ウ リポートしてくれる寄附者を増やす取組

アニマルペアレント（動物の飼育環境改善に対する寄附）を募りました。各動物園ホームページからクレジットカードで寄附できるようにしており、安定的にご寄附いただいています。会員の方向けには、ニュースレターの送付、動物園についての理解を深めるための「感謝の日」を実施しました。

【アニマルペアレント寄附実績】

園名	金額（前年度比）
よこはま	3,086,490円（87.7%）
野毛山	2,420,000円（112.6%）
金沢	1,635,000円（99.1%）
計	7,141,490円（97.6%）

【アニマルペアレント感謝の日開催実績】

園名	実施日	内容	参加人数
よこはま	10月1日	近況スライドショーとバックヤードツアーを実施。	89名
	3月3日	近況スライドショーとバックヤードツアーを実施。	78名
野毛山	10月7日	歴史のある獣舎のガイドツアーを実施。	40名
	2月23日	「のげカフェ」5年ぶりに実施。	27名
金沢	9月17日	動物病院ガイドツアーを実施。	12名
	2月18日	インドゾウでのアニマルペアレント寄附金の活用実績と今後行いたい福祉への取り組み事例紹介。	14名

【アニマルペアレント寄附 主な活用事例】

園名	実施内容	効果
よこはま	メガネグマ展示場渡り木更新等	老朽化した渡り木等を交換し、動物本来の行動を引き出すことができました。
野毛山	チンパンジーの獣舎に採血口を設置、クリスマスや誕生日会で使用する特別な餌の購入	チンパンジーの健康管理のための採血口を設置することで、動物に負担なく飼育管理を行うことができました。
金沢	インドゾウ展示場の排水改良工事	インドゾウ展示場全体の排水性が向上させることで、展示場の砂を乾いた状態で維持しやすくなりました。

エ 企業からの支援を増やす取組

教育普及活動や広報・プロモーション活動などを支援いただく企業、団体を増やすため、営業活動を行いました。協賛企業各社からは約3,300万円の継続支援をいただきました。また、トヨタウエインズグループから、環境に配慮した燃料電池自動車のMIRAIの寄贈を受けました。

【令和5年度企業協賛実績】

園名	協賛会社名
よこはま	① ウエインズグループ
	② 三井住友海上あいおい生命(株)
	③ コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
	④ サントリーフーズ(株)
	⑤ (株)伊藤園
	⑥ 高梨乳業(株)
	⑦ KDDI(株)
野毛山	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

オ 大口寄附者（遺贈を含む）を増やす取組

寄附者の方々との関係性を深められるよう、丁寧なコミュニケーションを図り、個人の方々より寄附をいただきました。よこはま動物園では、シシオザルの展示場の暖房小屋の設置、野毛山動物園ではダチョウ展示場とフラミンゴ展示場日よけ設置、金沢動物園ではオオツノヒツジ展示場の日よけ設置などに活用しました。

カ クラウドファンディングの実施

よこはま動物園ではクラウドファンディングを実施し、ミナミアフリカオットセイの展示場の日よけやミストの設置等に活用しました（支援者数1,854人、支援総額25,126,400円）。完成のお披露目とご支援をいただいた方々への感謝をお伝えするため、ホームページやブログでの発信、ライブ配信や完成報告会を行い、継続して動物園をご支援いただけるよう努めました。

(3) 利用者に関りを深めてもらう取組

利用者アンケートや広聴制度の運用を通じ、利用者の分析やニーズの把握を行い、部署間・関係事業者等との定例会議において情報共有・検討を行うことにより管理の質・来園者サービスの向上に取り組みました。また、職員のスキル向上のため、引き続きマーケティング研修を実施しました。

ア 利用者調査アンケート

3園において、11月9日～29日に二次元バーコードを使用した利用者調査アンケートを実施し、引き続き満足度の高い結果を得られることができました。

【利用者調査アンケート結果による全体的な満足度】

園名	回答数	全体的な満足度について「とても満足」「やや満足」と回答された割合（前年度比）
よこはま	613件	97.2%（98.1%）
野毛山	496件	98.4%（97.5%）
金沢	378件	96.0%（97.9%）

イ お客様のご意見・ご要望を伺う制度

広聴は1年間でよこはま動物園では66件、野毛山動物園では19件、金沢動物園では7件、3動物園に対し1件のご意見・ご要望等が寄せられ、回答が必要なものに対してはすべて2週間以内に回答しました。

【広聴件数（ホームページ等による要望等）】

園名	件数	内 訳				
		クレーム	ご意見・ご要望	質問・問合せ	お礼・励まし	その他
よこはま	66	1	62	0	3	0
野毛山	19	0	19	0	0	0
金沢	7	1	6	0	0	0
3動物園	1	0	1	0	0	0
計	93	2	88	0	3	0

【お礼ご意見の一例】

園名	内容
よこはま	平日にズーラシアにおじゃましました。たまたまラクダを見ていた所、お姉さんがソフィーちゃん（ラクダ）を連れて来てくれて、写真まで撮らせていただきました！娘もソフィーちゃんに別れ際に「ばいばい」と言って嬉しそうでした。お姉さんどうもありがとう！ソフィーちゃんも元気で長生きしてね！
野毛山	2023/11/22のチンパンジーのお食事タイムをご担当された飼育員さんがチンパンジーさんたちに寄り添っていらっしゃり、その優しさに大変感動いたしました。また、インドライオンの飼育員さんの真摯に向き合

	<p>われた解説やラージャーくんが飼育員さんをととても信頼していることから愛情深く接しられていることがうかがえました。コアリクイの飼育員さんもアリクイさんたちのことをとても考えていらっしゃいました。接する機会がなかった飼育員さんもパネルを拝見すれば、そのお気持ちがわかります。飼育員さん以外のスタッフさんも同様だと思います。いつ伺っても本当に素敵で伝えさせていただかずにはられませんでした。動物園好きで国内外問わず訪園していますが、野毛山動物園さんは本当に最高です。</p>
金沢	<p>他所で受け入れ拒否され続けたメジロの保護を引き受けたところ、持ち込みの際に感謝のお手紙をいただきました。開封したところ、「自然の摂理等の理由で断られ続ける中、金沢動物園様だけが引き受けて下さいました。このご恩は生涯忘れず自分たちの心に刻まれます。」との文章と共に、別途5万円が寄附されました。いただいた寄附金はアニマルペアレントとして受理しました。</p>

ウ モニタリングによる自己評価とその改善

年2回横浜市職員によるモニタリングを行い、各園及び協会本部で仕様書に定められたことの進捗を自己評価するとともに、意見交換を行うことで、GW期間中の渋滞対策や労災事故の再発防止策など業務改善につなげています。

(ア) 来園者サービス

よこはま動物園では、新たな電子チケットの販売を開始し、公式ホームページにバナーを設置することで、チケット購入時の煩雑さを軽減し、顧客満足度の向上に努め、入園者増と入園時の混雑緩和に繋がったほか、モバイルバッテリーシェアリングサービスを開始し、利便性の向上も図りました。また、園内の飲食・物販事業者と協力してオリジナルメニューやグッズを開発するなど魅力向上に努めました。

(イ) 動物飼育管理

3園共に高齢個体の飼育を含む動物福祉の向上や繁殖に積極的に取り組みました。環境エンリッチメントやハズバンダリートレーニングでは、計画・評価シートを活用しました。各園の飼育繁殖技術や動物事故事例などについては研究会や研修により情報共有をしたほか、今年度より安全研修の内容の見直しや研修回数を増やし、安全対策に努めました。また、職員の安全確保のためスマートウォッチの試行を行いました。クラウドファンディングやアニマルペアレント等の寄附金を使用しながら展示場の修繕等を適宜行い、飼育環境改善に努めました。獣医師についても3園で情報交換を行い、論文等で知見を広げることによって難易度の高い治療を成功させることができました。

(ウ) 教育普及

例年実施している「国際〇〇の日」を3動物園で共通している動物種においては、同日にイベントを企画しSNS等を通じて連携を図りました（キリン、オカピ、クロサイ等）。また、生息地で活動している外部団体との連携も行い、生息

環境や現状の情報共有を通じて環境教育に取り組み、物販などの収益は、生息域内での保全活動をしている団体へ寄附しました（レッサーパンダやゾウ等）。その他、有料大人向けプログラムとして、3動物園での連携や他園と連携した連続講座を実施し、参加者に各園への愛着を深めていただく機会を設けました。

よこはま動物園では、有料大人向けプログラムとして、動物解説板の作成を通して動物園の役割の理解を深めてもらう「動物園の裏仕事」を実施しました。

(エ) 人材育成

協会内で人材育成ビジョンを改定し、研修やOJTなどを通じて人材育成に努めました。

(オ) 広報

動物園に関心がないターゲット層への新たなアプローチ方法としてInstagramの広告掲出やPRTIMES等、インターネット媒体への情報発信を増やし、効果的に広報を行いました。

エ 各種会議での情報共有

警備、案内、飲食物販等お客様と接する機会の多い委託業者との定例打合せを通じ、課題改善、円滑な管理運営に努めました。

【課題改善の例】

園名	内容
よこはま	「国際チーターの日」に合わせ、フォトコーナーで限定デザインキーホルダーの販売やレストランで特別メニューを販売し飼育員作成の「チーターブック」をプレゼントしました。また、「国際ホッキョクグマの日」に合わせて「ホッキョクグマパンケーキ」を販売し、特製シールをプレゼントするなど、飼育員と連携した取り組みを実施しました。
野毛山	ナイトのげやまでは、初めてひだまり広場にキッチンカーを導入し、収益とお客様の利便性向上に取り組みました。また、「ライオンの誕生日」や「世界キリンの日」等に合わせた商品展開をし、園内のイベントとショップでの販売が連動することでイベント効果をより高めました。
金沢	公式 SNS への投稿や動物園内での POP 掲出による商品 PR を行いました。「世界ゾウの日」などの園内イベントにて売上の一部が保全団体へ寄附される商品の販売を行うなど、園が行う普及啓発活動と連動した商品販売に取り組みました。

オ お客様からの意見、要望も取り入れた来園者サービス向上への取組

園名	サービス向上への取組	効果
よこはま 金沢	電気自動車 (EV) 充電器の新規設置	正門駐車場に EV 充電器を 2 台設置し、次世代自動車の普及促進と施設利用者の利便性を向上しました

		た。EV 充電器は金沢自然公園の駐車場にも 2 台設置しました。
野毛山	ベンチと日よけの新設	ひだまり広場にベンチとパラソルを新設し、お客様の利便性向上に努めました。
金沢	コアラバス待合所、及び、オセアニア休憩所の椅子を更新	全体的に刷新し、おしゃれでかわいい休憩所になりました。(オセアニア休憩所は R6 年度も継続更新)

(4) 動物園マネジメントの取組

① 地球環境保全等に寄与する SDG s の取組

当団体では令和 3 年 4 月に「SDG s 達成に向けた取組 2021-2030」を策定し、12 月には、横浜市の SDG s 認証制度” Y-SDG s ” において、「上位=Superior」認証を取得しました。令和 4 年 11 月には、その後の取り組み実績により、「最上位=Supreme」認証にランクアップしました。経済・社会・環境の三側面の調和や統合的な向上をめざした SDG s の取組は以下とおりです。

ア 環境分野

取組	主な取組
生物多様性保全への貢献	動物の飼育管理 P. 34～P. 41 参照
環境負荷の低減に向けた取組	動物糞有効活用事業、コーヒー滓（かす）の再利用等

イ 社会分野

取組	主な取組
多様な教育普及	学校教育の取組 P. 32～P. 34、保全意識向上を図るプログラム P. 41～P. 46 参照
市民参加と市民協働による地域の活性化	園外 PR・地域連携活動 P. 18～P. 19、ボランティア活動 P. 31～P. 32 参照
誰も安全・安心・快適に利用できる施設の管理運営	防災訓練・動物逃亡捕獲訓練 P. 11～P. 12、施設等の維持管理 P. 49～P. 51 参照

ウ 経済分野

取組	主な取組
地域事業者との連携による地域経済の活性化	飼料の市内業者等からの調達等

エ ガバナンス

取組	主な取組
多様な主体とのパートナーシップによる事業推進	公民連携事業 P. 20～P. 21、ボランティア活動 P. 31～P. 32 参照

② 自主事業や経営改善等の取組

ア 季節ごとに3動物園を楽しめる主な取組

イベント名	概要	実施日	参加人数
よこはま夜の動物園	園内をライトアップして夜間開園し、関連イベントを実施。	8月土日祝	よ：58,592名 野：16,693名 金：11,848名
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	社会貢献活動として、障がいのある子どもたちとその家族を夜の動物園へ招待。	9月2日	よ：2,463名 野：107名 金：341名
3園シールラリー	閑散期対策（夏）の一つとして、期間中に迎える「キリンの日」に合わせて、3園で飼育しているキリンのことをより知ってもらうためのシールラリーを実施。	6月1日～7月30日	夏：7,000名
動物感謝祭	3園で死亡した動物の慰霊碑がある野毛山動物園で、3園の動物の誕生、長寿、死亡に関するパネル展等を実施。	9月1日～9月30日	—
動物画コンクール	3園で展示している動物を題材にした絵画の募集と展示。	募集：9月1日～9月30日 3園巡回展示：10月～12月	173名
クリスマスイベント	クリスマスの雰囲気を楽しめるよう、クリスマス装飾や関連イベントを実施。	11月22日～12月25日	—
オリジナルポスターカレンダープレゼント	3園で異なる絵柄のカレンダーを各日先着100名にプレゼント。3枚並べると1つの絵になる。	12月の土日、1月2日、3日	3,000名
お正月イベント	お正月飾り等で園内を装飾。	1月2日～1月8日	—

イ 各動物園の特徴、地域特性を生かした主な取組

(ア) よこはま

イベント名	概要	実施日	参加人数
ズーラシアガーデンパーティー	テーマに合わせた園内装飾と飲食ブースを設置したガーデンパーティーを実施。	(3月25日)～4月2日	—
身近な生きもの展	ズーラシア周辺や市内に生息する動物について学べるパネル展を実施。	7月12日～8月28日	—

村田園長とっておき写真展	園長が撮影した動物の写真展と園長によるギャラリートークを実施。	9月6日～12月4日、ギャラリートーク11月22日	ギャラリートーク参加者91名
ズーラシアフェス！～イヌまつり～	ズーラシアで飼育しているイヌ科をテーマに、楽しく学べるイベントや関連雑貨の販売・ドッグトレーニングに関する講演会を実施。	10月1日～10月30日土日祝 全11回 講演会：10月29日	実施日の入園者：67,410名 講演会参加者：35名
ズーラシア駅伝	旭区駅伝競走大会実行委員会と共催で園内にて駅伝大会を実施。	1月27日	1,637名

(イ) 野毛山

イベント名	概要	実施日	参加人数
オリジナル鯉のぼり展示	レッサーパンダ、ペンギン等の鯉のぼりを入園口に掲出。	4月11日～5月21日	—
集まれ！どんぐりひろい隊	野生のツキノワグマの生態を学んだ後、ボランティアの方々に拾っていただいたどんぐりをツキノワグマに給餌しながらのガイドを実施。	10月8日、22日	304名
西区スタンプラリー	西区の保健活動推進委員会を中心に動物をテーマにしたスタンプラリーをしながら、ウォーキングする企画。	10月2日	200名
ツキノワグマ誕生日会	ツキノワグマの「サンペイ」と「コマチ」の誕生日会をSDGsと絡めた企画として実施。事前メッセージを募集し、そのメッセージをパネルで展示。	メッセージ募集：11月1日～19日、誕生日会12月10日 12月1日～29日（掲示）	誕生日会：90名
動物たちのお食事大公開	普段ご覧いただけない動物たちのエサを紹介。今年はさらに、エサを用意する様子を実演し、その後は展示場前にて動物ガイドを実施。	11月5日、12日、19日	440名
遊んではかって暮らし発見！	消費者協会・岩崎学園との連携イベント。園内を活用したクイズラリーの実施。	11月11日	1,500名
なかくっ子ウォーク in 野毛山動物園	野毛山動物園をテーマにしたクイズを解きながら、ウォーキングし時間内にゴールを目指す。	1月28日	300名

ピーコさん写真展	57年間野毛山動物園で暮らしたチンパンジーのピーコさんを偲ぶ写真展。	2月10日～（継続中）	—
インドライオン誕生日会	インドライオンの「ラージャー」の誕生日会を特別な餌の給餌と共に飼育員によるガイド実施。今年は、屠体給餌を初めて来園者の前で行った。	2月12日	300名

(ウ) 金沢

イベント名	概要	実施日	参加人数
GW イベント「Save the animal～あなたの知らない絶滅危惧種」	絶滅危惧種をテーマに市内の環境保全団体などと協働し、体験型のイベント開催や展示ブースを出展。	4月29日～5月7日	22,763名
Zoo to Wild Fes Autumn～人と自然の関わり	環境保全（人と自然の関わりについて）をテーマに、市内の環境保全団体などと協働して、体験型のイベントや展示ブースを出展。	10月7日～9日	2,378名
SNS ホリデーグリーティングキャンペーン	金沢動物園で撮影した写真を使用したクリスマスカードや年賀状をXに投稿してもらい、作品は園内で展示。	12月16日～1月14日（キャンペーン） 2月6日～3月3日（作品展示）	—
コアラとゾウを観察しながらSDGsを学ぶ体験しよう	そごう横浜店の「コアラとゾウを観察しながらSDGsを学ぶ体験福袋」と連携した、動物園のSDGsの取り組みについて体験するプログラムを実施。	3月2日	21名
Zoo to wild Fes spring～楽しくSDGzoo®	絶滅危惧種をテーマに市内の環境保全団体などと協働し、体験型のイベント開催や展示ブースを出展。	3月23日、24日	1,541名
固有種の探検隊 in 金沢動物園 スタンプラリー ワークショップ	ロッテ「固有種のマーチ」（コアラのマーチの特別バージョン）と連携したスタンプラリーとオリジナルの固有種図鑑を作成するワークショップを開催。	3月30日、31日	5,561名（スタンプラリー） 66名（ワークショップ）

ウ ふれあい体験

各動物園で、コロナの感染状況、動物福祉に配慮しながらふれあい体験を実施しました。

園名	場所	プログラム	実施内容
よこはま	ぱかぱか 広場	ひき馬体験	スタッフが引く馬に乗る体験を実施しました。
		自然体験林でひき馬体験	自然体験林をスタッフが引く馬に乗って散策する体験を実施しました。
		馬の飼育員になってみよう	馬房の清掃やブラシがけ等の飼育体験を実施しました。
		えさやり体験	馬に餌をあげる体験を非接触の方法で実施しました（有料）。
	モルモット・ネズミのおうち	事前予約制により参加人数とふれあう動物を限定し、動物福祉に配慮しながらのふれあいを実施しました。	
	サバンナ	ヒトコブラクダのガイド・公開トレーニング	ラクダライドの代わりにガイド及び公開トレーニングを実施しました。
野毛山	なかよし 広場	モルモット、ハツカネズミ等とのふれあい	動物福祉と新しい生活様式に配慮し、事前予約制により参加人数とふれあう動物を限定したふれあいを実施しました。
金沢	ほのぼの 広場	ヤギさんのおやつタイム	ヤギとヒツジの餌やり体験の方法をコロナ禍以前に戻し、動物とふれあえる方法で実施しました。

エ ボランティア活動

コロナが5類に移行し、ボランティア活動も活発に行われました。

（活動人数：よこはま4団体83人、野毛山4団体33人、金沢5団体102人）

園名	主な取組
よこはま	動物の展示場前での通常ガイドやナイトズーラシアでのガイドのほか、工作や紙芝居等のワークショップを実施しました（ズーラシアサポーターズ）。また、ドリームナイト・アット・ザ・ズーにおいて案内補助等を実施しました（ジブラルタ生命保険株式会社、旭陵高校）。園内の花苗植えつけやチンパンジーのハンモックづくり、園内バスルートの看板づくりを実施しました。（三井住友海上あいおい生命保険株式会社）
野毛山	通常ガイドのほか、ナイトのげやま・ドリームナイト・アット・ザ・ズーでのガイド、動物たちのSOS展ブースに参加した。また、国際レッサーパンダデーでのアンケート調査に協力しました。また、新たに毛皮などの派生物を使用したガイドを始めました。また、「集まれどんぐりひろい隊」と題したイベントでワークショップなどを実施しました。（Zoo&AquariumCreators 他）
	毎週日曜日ツノ・キバガイドを実施しました。（ZOO ボランティア） ドリームナイト・アット・ザ・ズーにおいては、オカピクイズ、紙芝居、クイズ大会、バルーンアートプレゼント、ツノ・キバガイドを実施しました。

金沢	(帝京科学大学動物園研究部、日本大学くらしの生物学科、ZOO ボランティア) 植物区エリアでの樹林地・竹林等の管理補助を実施しました。(かなざわ森沢山の会)。
----	--

オ 経営改善の取組

事業資金の調達では、アニマルペアレント等による外部資金の獲得に取り組みました。(P. 22 参照) また、横浜市健康福祉局による認証制度「横浜健康経営認証」の取得団体として、健康講習会の実施など職員の健康保持・増進に積極的に取り組みました。(P. 10 参照)

(5) 学校教育プログラム

よこはまは「世界」、野毛山は「身近」、金沢は「自然」といった各園の特徴を活かした教育プログラムを企画、実施しました。コロナ対応として、引き続きオンラインでの対応やDVDの貸出しも継続しました。※それぞれのプログラムの実績については、参考資料 P. 56～58 参照

① 学校教育向けプログラム (3園)

ア 来園プログラム

20種のプログラムを実施し、3園で15,673名(前年度比+5,168名)の参加がありました。

【主な来園プログラムの効果】

園名	実施内容	効果
よこはま	キャリア教育のプログラムに「動物園の概要」を追加しました。	追加したことで、1校136名の参加がありました。
野毛山	飼育員の一日で使用するパネルのパネル枚数を増やし、最新の内容にするとともに、詳細をわかりやすく説明できるようにしました。	以前に比べ反応も良く、実施時に子どもたち自らが思ったこと、気づいたことを言葉にする機会が増えました。
金沢	環境エンリッチメントや飼育の工夫、動物福祉の取組を伝える「ゾウの健康大作戦！ガイド」、動物園の社会的役割やゾウの飼育方法を題材に、動物園でのSDGsの取り組みを伝える「どうぶつとSDGs」を新規実施しました。	動物園での、環境エンリッチメントや動物福祉、SDGsの取り組みを伝えるコンテンツを追加することにより、昨今の社会情勢も加味した保全意識の向上を図るより深い学びを提供できました。

イ 出張プログラム

5種のプログラムを実施し、3園で9,722名(前年度比+928名)の参加がありました。

【主な出張プログラムの効果】

園名	実施内容	効果
よこはま	基本対応は対面としましたが、学校の希望により、オンラインにも臨機応変に対応しました。	来園を希望する学校が大半を占める中、オンライン対応も可能としたことで、遠方(長野県)への要望にも応え、より多くの学習機会を設けることができました。

野毛山	動物の赤ちゃんの大きさを比べられる等身大の写真（布）などのツールを増やし、生徒自身を含めた動物の大きさ比べをより体感できるような工夫をしました。	児童生徒の反応が良く、自分でももっと動物の赤ちゃんについて調べたいという声が多く上がりました。また教職員からの反応も良く、1年生向けのプログラムですが、ほかの学年にも経験させたいとの話がありました。
金沢	市内の出張範囲を3園で分担していますが、金沢の分担区内でよこはま動物園への来園の事前学習を希望していた学校にも、金沢動物園職員の出張で対応しました。	他園へ来園の事前学習の要望であっても、各動物園と情報を共有して授業を作成し、金沢から出張することで移動時間を短縮しました。市内に3園あることを活かして効率よく出張対応をすることができました。

- ① 先生方と内容を相談しながら作り上げるプログラム
学校等と連携し、3園で4,100名（前年度比+1,673名）の参加がありました。

【主な連携授業への効果】

園名	実施内容	効果
よこはま	近隣の川井小学校と身近な野生動物との共生について、事前学習と事後学習を組み合わせたプログラムを実施しました。また、旭陵高校とは、講義や観察、園内発表を組み合わせたプログラムを実施しました。	事前と事後学習によって、より人間と野生動物との問題を自分ごとに捉えて考えてもらうことができました（川井小）。また、講義や観察学習などで学んだことを発表することで、動物園や野生動物への理解を深めてもらうことができました（旭陵高校）。
野毛山	全盲・弱視の児童に向けた小動物のふれあいと飼育員の仕事を知るプログラムを実施しました。 近隣の小学校と連携し野毛山動物園の動物、動物園の仕事を伝える図鑑を制作した。 制作物の展示を横浜市中心図書館で行いました。	飼育員が目の見えない子どもをアテンドすることで、触れることができなかつた子がさわれるようになったり、エサの匂いを嗅いだり触れることにより、動物の取り巻く環境を学び、命のぬくもりを感じる事が出来ました。 制作した図鑑が図書館や地域施設に展示されました。アンケートから児童が苦手だと思っていた動物を好きになったこと、動物園の仕事について知ったことや図鑑を読む人に正確な情報が伝わるように努力したことで達成感を持ったことがわかりました。
金沢	近隣の小学校と連携し、金沢区の魅力ある施設として、集客、教育、環境保全施設である金沢動物園について学ぶプログラムを新規に実施しました。	金沢区の魅力を考えるという切り口から、区内にある動物園の役割を学ぶ新しい学習展開により、地域の施設に愛着を持ち、応援する気持ちを育むことができました。

② 小動物ふれあいプログラム（野毛山）

動物福祉に配慮し、1回の団体受け入れ人数を縮小し、動物の負担を軽減しつつ、児童が観察をしっかりとできるように改良しました。教員からも児童が落ち着いてふれあいに集中できていたとの感想が聞かれました。また、プログラム内でかんさつシートを配布し、より動物の形態等にも注目して観察を促す内容に改善しました。

4 動物の飼育管理

(1) 飼育現場での取組

世界の野生動物の現状への理解を深めてもらえるよう、動物の生態や健康維持、動物福祉（アニマルウエルフェア）に配慮した飼育管理に取り組むほか、飼育動物の記録や飼料の調達、給餌等を行いました。飼料となる青草、ユーカリなどの栽培・生産については、市内生産農家等に依頼し、安定的な供給の確保を図るとともに、地域の活性化に取り組みました。

① 動物福祉（生活の質）向上のための取組

3園で飼育する動物に対して、科学的な根拠に基づき、3園における良好な動物福祉を高める取組を推進しました。また、動物福祉への職員の理解を深めるため、Wild Welfare が主催するオンラインセミナーを動物職員全員が受講しました。

ア エンリッチメントの取組

飼育動物の多様な行動を引き出す飼育環境改善（エンリッチメント）の取組にあたっては、計画シートを作成し、効果検証を行い、良好な動物福祉を高めていきました。

【主なエンリッチメントの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	ミナミアフリカオットセイの展示場に日よけとミストを設置するとともに、陸場を整備しました。	夏の猛暑による水温の上昇を抑えるとともに陸場を休息できやすく整備したことにより、目の疾患を低減できる効果があると考えています。
野毛山	キリン・チンパンジー・ツキノワグマ等の展示場及び寝室へ、フィーダーや消防ホースとハンモック等を設置しました。	展示場や寝室が狭いながらも空間利用できる範囲が拡充した事に伴い行動範囲及び量が増えたと共に本来の行動を誘引することが出来ました。
金沢	パルマワラビーにおいて、夜間にサブパドックを開放し、使用できるスペースを増やし、糞と残餌を調べることで利用状況を測定しました。	サブパドックの滞在頻度が増加しており、夜行性であるワラビー生態に即した飼育管理ができました。

イ ハズバンダリートレーニング（受診動作訓練）の取組

無麻酔での採血等、動物福祉に配慮した健康管理（ハズバンダリートレーニング）の取組にあたっては、計画シートを作成し、効果検証を行い、良好な動物福祉を高めていきました。

【主なトレーニングの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	ウンピョウに対し、無保定下でのワクチン接種ができるようトレーニングを行いました。	動物の誘導ができるようになったため、今後注射を打つトレーニングを継続して行っています。
野毛山	キリンでは血圧測定、レントゲン等のトレーニング、グレビーシマウマではターゲットトレーニング、チンパンジーでは採血を目的とした針当てのトレーニング等を実施しました。	キリンのオスでは血圧測定、レントゲン（左右前肢：側面からの撮影、球節にカセットを当てる）、メスでは足上げ（右前肢の前膝に手を添えて上げる）が出来るようになった他、グレビーシマウマでは繁殖した個体で柵越しの横向き誘導、メスで両側からの聴診器による聴診が出来るようになりました。チンパンジーでは採血を目的としたトレーニングで注射時での態勢保持、上腕部への押し当てが可能となりました。
金沢	ゾウの準間接飼育用に改修した柵を介した状態でも体のケアが行えるように、号令に従って頭や体を柵に寄せるトレーニングを実施しました。	号令に合わせて頭と体を柵に寄せて立ち止まる動きを習得できました。

ウ 老齢個体に配慮した飼育管理の取組

老齢個体の飼育管理については、動物のQOL（Quality of life：生活の質、その動物種らしく、肉体的・精神的・社会的な日常生活を含めたものの充実度や満足感）の向上を第一に考え取り組みました。

【主な老齢個体に配慮した取組】

園名	取組概要
よこはま	高齢のレッサーパンダに対し、寝室内での移動を容易にすることを目的に、止まり木の改良等を行いました。
野毛山	ホンダタヌキの寝室に昨年度空調機を設置、遠赤外線器具によるスポット暖房、小型扇風機の使用等により、寒暖の差によるストレスに対応。また、終日間仕切り開放にし、好きな時に日光浴や、外気に触れることができるようにしました。
金沢	老齢で歩行機能が低下したカピバラに対し、展示を休止し寝室におが粉を敷いたり、寝室内で使えるエンリッチメント器具を設置したりするなどの介護飼育を行いました。

② 飼育現場での努力や意識向上に資する取組

ア 動物舎の維持管理

動物舎及び展示場の管理は、日常的に施設の安全点検を行い、小破修繕を適宜実施しました。また、施設の長寿命化計画に準拠し、共通のフォーマットを用いて統一基準で管理し、市に報告することで大規模修繕計画にも反映させました。

【主な展示の魅力向上】

園名	概要	効果
よこはま	メガネグマの止まり木の交換工事	老朽化した止まり木を交換する際に、より動物の動きが活発にみられるように工夫をしました。
	ユーラシアカワウソ展示場の擬岩等の改良	体格の大きい欧州亜種に変更したことに伴い逸走対策として、展示場の擬岩のかさ上げや凹凸の除去の工事を行いました。
野毛山	ミナミコアリクイ寝室内の改良	現在寝室が2部屋しかないため、次の繁殖を見据え、雌雄同居を可能にする為に、子を隔離できる個部屋を寝室内に作成しました。
	フラミンゴ・ダチョウ展示場への日除けネットの設置及びネット支柱を活用した防鳥ネットの設置	寄附金により設置した日除けネットの支柱及びワイヤーを利活用し、鳥インフルエンザ対策の防鳥ネット設置と動物の出入り口を新設及び設置範囲の拡大を行いました。
金沢	ライチョウの展示場改修	ニホンライチョウ飼育開始に向けて展示場を改修し、より観察しやすく教育普及効果の高い施設になりました。
	オオツノヒツジに給餌器を設置	観覧デッキの近くに遠隔で枝葉を給餌できる装置を設置し、お客様の近くで安全に給餌ができるようになりました。

イ 動物園水族館事業、博物館事業への貢献

WAZA、日動水、神奈川県博物館協会の加盟団体として、当該団体の役割の一翼を担うことで、国内外における動物園水族館事業、博物館事業の推進に貢献しました。また、引き続きよこはま動物園長が日動水の会長に就任しています。

【各団体での役割一覧】

団体	役割	
WAZA	倫理動物福祉委員会 委員	
日動水	会長	
	総務委員会	倫理福祉部員
	教育普及委員会	普及啓発部員
	生物多様性委員会	種別計画管理者等
神奈川県博物館協会	理事	
	自然科学部会	幹事

ウ SDGsへの貢献

環境負荷の低減に向けた取組として、動物の飼育管理を通じたSDGsへの貢献を進めました。

【動物の飼育管理を通じたSDGsへの取組】

園名	取組概要
3動物園	B級品の青果や園内で発生した剪定枝を飼料に活用しました。

よこはま	園内の樹木を台切りし、萌芽更新を図るとともに、伐採された枝や新芽の一部を動物の餌に活用しました。
野毛山	野毛山公園のどんぐり拾いをするボランティアを園内のSDGsのイベントと連動して募集し、拾ったどんぐりをツキノワグマへの餌として活用しました。
金沢	<ul style="list-style-type: none"> ・コーヒー滓（かす）をゾウなどの床材に利用しました。 ・ゾウ糞及びコーヒー滓（かす）の床材をたい肥化し、園内、市内公園ユーカリ圃場、木の葉搬入業者が管理する苗木圃場で活用しました。

エ 職員の努力

動物園の役割を果たすため、職員一人一人が各種の工夫・努力を行いました。

【職員が取り組んだ主な努力】

園名	取組概要
よこはま	<ul style="list-style-type: none"> ・ラクダライドは前年度に終了となりましたが、ガイドや餌やり体験を開始し、ラクダについて学ぶ機会を多く提供しています。 ・JAZAの動物福祉監査を契機とし、再度動物の福祉の向上について飼育管理の見直しを行いました。改善点を抽出しすぐに対応を行い、監査は無事終了しています。
野毛山	<ul style="list-style-type: none"> ・グレビーシマウマとチンパンジーの繁殖子の成長記録をこまめにSNSで発信しました。 ・ミナミコアリクイの繁殖に積極的に取り組み、横浜で初となる繁殖に成功し、順調に生育しています。 ・学校連携として戸部小学校、地域連携として中央図書館と協同し、児童が制作した野毛山動物園図鑑を図書館内に掲示しました。また、その成果を動物園の成果物として発表しました。
金沢	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の野生動植物や林地環境の保全を行うとともに、それらの普及活動や体験イベント等を実施しました。 ・インドゾウ舎の準間接飼育移行工事を人と動物ともに事故なく完了させました。

③ 計画的な繁殖管理

動物飼育計画の立案にあたっては、動物の生態を踏まえ、当団体に蓄積された記録を参照した上で計画を立案しました。また、重点保全種に指定されている種については、収集計画を含む繁殖計画を立案しました。繁殖に取り組む準備を進める種については、国内外からの情報収集等に取り組み、海外との連携強化に努めました。

【主な繁殖動物】※は重点保全種

よこはま		野毛山		金沢	
種名	点数	種名	点数	種名	点数
ウーリーモンキー	1	アカエリマキキツネザル	3	スーチョワンバーラル	1
フランソワルトン※	1	ミナミコアリクイ	1	アマミトゲネズミ※	7

シシオザル	2	フサオマキザル	1	ムカシツチガエル※	145
チンパンジー	1	ルリゴシボタンインコ	1	ミヤコタナゴ※	66
アカアシドゥ克蘭ゲール※	1	オシドリ	12	ホトケドジョウ※	29
カンムリセイラン※	1	ミヤコカナヘビ※	21	オオツノヒツジ	3
アカカンガルー	4	ヘサキリクガメ※	1	オオカンガルー	3
オウギバト	3	ホウシャガメ※	5		
フンボルトペンギン	2				
9種 16点		8種 45点		7種 254点	

④ 動物の適切な管理

ア 防疫・衛生管理

飼育員と獣医師が密に連携し、疾病の予防に取り組むことを基本とし、日々の細かな観察及び専門的な知識と蓄積された経験に基づき、早期発見早期治療による健康管理を行いました。治療にあたっては、最先端の獣医療を提供するオンデマンドサービスを活用することで、日々の外科的な処置等に役立てました。防疫面でも引き続き、コロナ、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱の感染防止に努めました。

【主な症例への対応】

園名	概要	効果
よこはま	大型動物用人工呼吸器付麻酔器を活用したオカピの麻酔下削蹄	オカピの削蹄の際に大型動物用人工呼吸器付麻酔器を使用し安全に行っており、得られた知見を動物園技術者研究会で発表しました。
野毛山	インドライオンの麻酔を用いたトレーニング	トレーニングで麻酔導入を行うことで麻酔銃を使用せずに、速やかに導入でき、個体のストレスを最低限で実施することができました。
金沢	オオツノヒツジの早期妊娠鑑定	牛用の妊娠検査薬を活用した妊娠鑑定を実施しました。出産予定の3頭のうち採血馴致可能個体については、無保定下採血の実施により、早期妊娠診断を実施しました。

イ 3園一体運営を活かした飼育管理

よこはま動物園でのツシマヤマネコの人工授精、オカピの麻酔下での削蹄等、3動物園の獣医師の協力のもと実施し技術共有につなげました。また、高病原性鳥インフルエンザ発生の際には、よこはま動物園から金沢動物園へカモメ類を移動させ、防疫体制を整えました。インドゾウを飼育しているよこはま動物園と金沢動物園の2園館では、飼育管理および設備改修について定例会議を行い、情報共有に努めました。野毛山動物園では、リニューアルの工事が始まることから、一部の動物をよこはま動物園や万騎が原ちびっこ動物園に移動させました。

(2) 保全に貢献する取組

① 世界的に評価されうるといえる域外保全への取組

よこはま動物園では、令和3年3月にツシマヤマネコの人工授精による繁殖に国内ではじめて成功し、ツシマヤマネコの域外保全の取組を前進させることを目的に今年度も引き続き人工授精に挑戦しました。今年度は、これまでとは別の方法での発情誘導に成功しました。

② 日動水等、国内外の保全に関わる機関、団体等と連携した保全への取組

当団体が多くの実績や技術を有する種については、率先して国内外の動物園関係団体との連携を図り、保全活動に努めました。また、日動水内の生物多様性委員会他の役割を担うことで、国内での保護・繁殖に積極的に携わりました。

【役割一覧】

	役割	動物種等	
国内	日動水生物多様性委員会	類別調整者	食肉類（副類別調整者）
		種別計画管理者	シロテテナガザル、ユーラシアカワウソ、インドサイ、ブラジルバク、ハウシャガメ
		個体群管理者	オオカンガルー、ヤブイヌ、アラビアオリックス、ベアードバク、ハミルトンガメ、インドセタカガメ
		専門技術員	コアラ、フランソワルトン、スマトラトラ、ツシマヤマネコ、アジアゾウ、クロサイ、グレビーシマウマ、ニホンカモシカ、コツメカワウソ、マレーバク、テナガザル類、アマミトゲネズミ
国外	国際ワーキンググループ* 参加	ヘサキリクガメ	

*主要な国際保全組織に所属するカメの専門家が結成する組織横断的なグループ。CITES（ワシントン条約）やCBS（生物多様性保全）等に助言や勧告を行う。

また、連携協定等を締結した海外の地域団体や動物園と情報交換等を進めました。インドネシアとの保護協定に基づき、テングザルの飼育報告書の提出や繁殖のための継続的な調整を毎年実施している他、生息域外保全施設として動物福祉に配慮しながら調整を進めています。

項目	主な取組
台北市立動物園との連携	覚書に基づき、動物交換等の調整を行いました。次年度にマレーバク1頭を搬出予定です。
世界動物園水族館協会（WAZA）との連携	WAZAの会員として、年次総会へ参加して情報共有などに努めたほか、WAZAの管理する保全計画である種管理計画に協力して、野生動物保全に努めました。
東南アジア動物園水族館協会（SEAZA）との連携	年次総会へ参加し、動物園での繁殖やエンリッチメント、動物福祉の取組について情報交換をしました。

③ 域内保全と連携した取組

日動水が環境省と締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づき、ツシマヤマネコ、ミヤコカナヘビ、トゲネズミ類の飼育・繁殖技術の確立を目指し、動物園での保全活動を行いました。また、金沢動物園にニホンライチョウを新たに、導入しました。

【域内保全と連携した主な取組】

項目	動物種	主な取組
環境省の保護増殖事業への協力	ツシマヤマネコ (よこはま)	人工繁殖に取り組むとともに、繁殖生理に関するデータ収集を行いました。
	ニホンライチョウ 人工授精 (よこはま)、展示 (金沢)	繁殖センターと連携し、近似種のスバルライチョウの展示を通じて教育普及に貢献しました。また、ニホンライチョウの人工授精に取り組み、金沢動物園へ新たな個体を他園より導入しました。
	ミヤコカナヘビ (野毛山)	飼育下繁殖技術の向上及び獣医学的・科学的知見の集積へ協力しました。
トゲネズミ類 生息域外保全事業への協力	アマミトゲネズミ (金沢)	飼育下繁殖技術確立に取り組みました。
身近な野生動物の保全	ミゾゴイ (野毛山、金沢)	繁殖センターと連携し、野生復帰に向けた準備を行い、試験放鳥を行いました (金沢)。展示を通じて教育普及を行いました (野毛山)。
	ミヤコタナゴ (野毛山、金沢)	横浜市教育委員会が主導するミヤコタナゴ保護育成検討会及び関係機関と連携し保全活動に取り組みました。
	ミナミメダカ (横浜産) (野毛山、金沢)	飼育下繁殖に加え、ビオトープを整備し野外環境での飼育に取り組みました。(金沢)
	ムカシツチガエル (金沢)	繁殖センターと連携して繁殖に取り組みました。
	ヤマアカガエル等 (よこはま、金沢)	よこはま・金沢での生息調査を実施しました。
域内保全活動事業	オカピ (よこはま、金沢)	現地で活動するオカピ保全プロジェクトへ支援金を送付すると共に、世界オカピの日に合わせた普及活動に取り組みました。
	ホッキョクグマ (よこはま)	国際ホッキョクグマの日に合わせた普及活動に取り組むとともに、現地で活動する Polar Bear International へ支援金を送付しました。
インドネシア政府との保護協定	テングザル (よこはま)	2年間の飼育委任について覚書の締結をし、原契約の更新についても調整を継続しました。
希少植物の保全	エビネ等 (金沢)	下草や倒木を片付け生育環境を整備しました。

④ 傷病鳥獣の受入、治療、および野生復帰

ケガや病気により救護された野生鳥獣(鳥類・哺乳類)を治療し、野生に戻す取組を行いました。鳥インフルエンザ防疫対応以前までは、例年通り、巣立ち雛の誤認保護が多く、冬季では、成獣タヌキの疥癬症の保護が多い傾向が見られました。

※鳥インフルエンザ防疫対応のため令和5年10月12日から傷病鳥の受け入れを中止しました。(令和6年3月31日時点で対応受け入れ中止継続)

【傷病鳥獣保護点数】

園名	点数	
	令和5年度	前年度比
よこはま	117点	-1点
野毛山	90点	+11点
金沢	154点	-60点
計	361点	-50点

⑤ 保全のための人材育成に向けた取組

ア 職員の育成

職員の保全意識向上を図るため、野生動物保護研修やよこはま動物園園長による動物園学習、SDG s 研修等を実施しました。

イ お客様の保全意識向上に向けた取組

講演会やセミナー、パネル展示を実施するとともに、一部のものは、その効果についてもアンケート等を行うことで評価しました。

【主な取組と評価】

(ア) 複数園

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
飼育の日	4月19日(シイク)に合わせ、飼育係の仕事についてパネル展を通じて紹介し、動物園への理解を深める普及活動を実施しました。さらに理解を深めてもらえるよう、実際に使用している道具をひだまり広場にて展示しました。(野毛山)	よ：(3月15日)～5月8日 野：4月1日～4月19日 金：(3月27日)～4月28日	—
世界キリンの日 (よこはま、野毛山)	世界キリンの日にちなみ、3園で飼育しているキリン及び保全について理解を深めてもらえるよう、パネル展、動画放映、SNSリレーを実施しました。 世界キリンの日にちなみ、3園で飼育しているキリンについて理解を深めてもらえるよう、パネル展にて紹介しました。 新しい企画として、3園のSNSにてキリンを紹介する投稿を行いました。	よ：6月1日～7月3日、野：6月6日～30日	—

世界ゾウの日特別イベント「ゾウ大使になろう」	よこはま動物園と連携し、世界ゾウの日になんで、小学生を対象としたインドゾウについてのレクチャーとワークショップを実施しました。 参加者は、ゲームを通してゾウの生態や脅威を実感できていました。	(金) 8月5日 (よ) 8月26日	(金) 12名 (よ) 13名
【拡充】国際レッサーパンダデー企画 (よこはま、野毛山)	国際レッサーパンダの日になみ、パネル展、動画放映及び特別ガイドを実施しました。また、園内レストランと連携して、レッサーパンダのシールを貼ったドリンクを販売しました。 (よこはま) パネル展 (1か月間)、特別ガイド等を実施しました。来園者の保全活動の一環として、野生のレッサーパンダの保全活動を行う団体「レッドパンダネットワーク」への募金を実施し、域内保全への参加を呼びかけました。(野毛山) また、今年は2園の連携企画として、飼育しているレッサーパンダを紹介する SNS 投稿を行いました。	9月16日～ 10月15日	ガイド：150人 (よ)
世界サイの日特別イベント	ライノデー (世界サイの日) になんで、野生のサイの保全活動を紹介するパネル展や飼育員の特別ガイドなどを実施しました。	9月23日～ 24日	2,956名
世界オカピの日 (よこはま、金沢)	野生のオカピの現状や生態についてのガイド、ワークショップの他、オカピに関する物販を実施し、売上の一部を寄附しました (よこはま)。 飼育員の特別ガイドの実施と、Okapi Conservation Project (OCP) の活動内容紹介パネルの展示、ワークショップ、アフリカ楽器の演奏、アフリカ雑貨の販売などを実施し、売上の一部を OCP に寄附することで、現地支援に貢献しました。(金沢)	10月14日、 15日	ガイド (よ) : 380人、 金 : 2,294人
【新規】魅力発見！横浜3動物園めぐり	横浜の3動物園を巡回する、横浜の動物園の歴史、動物福祉や保全の取組みを紹介する、大人向けの連続講座を実施しました。	9月26日、 10月22日、 11月26日	延べ57人 (野) 19人、 (金) 20人、 (よ) 18人
公開飼育研究会	3園と横浜市繁殖センターで行っている調査研究の成果について、各施設1題づつ発表しました。	11月19日	32人

(イ) よこはま

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
ズーラシアスクール	小学高学年を対象に、連続講座を通して、動物や人、環境について考える総合力を養うことを目的とした企画を実施しました。 半年間、毎回テーマを変えて、動物だけでなく環境についても深く学ぶことができました。	9月～3月 毎月1回実施	27人
世界バクの日	世界バクの日になみ、マレーバクの特別ガイドを実施しました。	4月23日	40人
世界カワウソの日	世界カワウソの日になみ、ユーラシアカワウソのパネル展、特別ガイド、ワークショップ及び物販販売を実施しました。また、売り上げの一部を International Otter Survival Fund へ寄附しました。	5月17日～ 6月5日	ガイド：110人
世界キノボリカンガルーの日	世界キノボリカンガルーの日になみ、パネル展、特別ガイド、ワークショップ及び物販販売を実施しました。また、売り上げの一部を Tree Kangaroo Conservation Program へ寄附しました。	5月17日～ 6月5日	ガイド：405人
世界ドールの日	世界ドールの日になみ、パネル展等を実施しました。	5月22日～ 6月5日	
海の生き物 SOS 展	海のゴミが野生動物に与える影響等を紹介する企画展を実施しました。	5月31日～ 9月4日	
身近な生きもの展	ズーラシア周辺や市内に生息する動物について学べるパネル展を実施しました。	7月12日～ 8月28日	
世界トラの日	世界トラの日になみ、スマトラトラのパネル展及び特別ガイドを実施しました。	7月22日～ 31日	ガイド：30人
ヤマネコの日	ヤマネコの日になみ、ツシマヤマネコのパネル展を実施しました。	9月29日～ 10月30日	
テングザルの日	10月9日をテングザルの日とし、テングザルについて学べるパネル展及び特別ガイドを実施しました。	9月30日～ 10月9日	ガイド：15人
世界チーターの日	世界チーターの日になみ、パネル展を実施しました。	11月29日～ 12月28日	
モウコノウマ来園記念	モウコノウ馬來園になみ、写真展及び野生の状況について学べる講演会を実施しました。	2月10日～ 26日 講演会：2月10日	講演会：82人
国際ホッキョクグマの日	国際ホッキョクグマの日になみ、パネル展、特別ガイド、ワークショップ、講演会及び国内	2月14日～ 3月4日	ガイド：260人

	ホッキョクグマ飼育4園をオンラインでつないだクロストークを実施しました。		ワークショップ：562人 講演会：75人 クロストーク：41名
--	--------------------------------------	--	---------------------------------------

(ウ) 野毛山

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
世界渡り鳥の日	世界渡り鳥の日にちなみ、野鳥の現状や日本で見られる渡り鳥や留鳥などを紹介するパネル展を実施しました。	5月10日～31日	—
野毛山動物園セミナー2023「動物園と大学の研究連携 - 展示個体の行動を数値化することでみえてくること -」	動物園の役割のひとつである「調査・研究」に焦点を当てた「動物園セミナー」を実施し、日本大学の金澤朋子氏を講師に迎え、3動物園と日本大学との共同研究内容や成果、動物園内でやっている取り組みなどを紹介しました。	11月19日	32人
世界アリの日	ミナミコアアリ・オオアリについてのパネルを展示しました。 また、誕生したミナミコアアリ「ムム」の成長について紹介したパネルを展示しました。	11月21日～12月28日	—
1000 いいね♡超えた野毛山動物園写真展	1月～12月の期間で公式Xでいいね件数が高かったものの中から選考した写真をパネルにて掲示しました。	1月13日～2月29日	—
国際シマウマの日	野生のシマウマの現状や生態などについて紹介するパネルを展示し、誕生した子どもの「リアン」の成長をパネルや動画で紹介しました。	1月28日～2月26日	—
第19回動物たちのSOS展～守ろう生物多様性～	「生息地での野生動物の現状」、「ペットや製品として消費される野生動物」など動物園の動物たちが絶滅の危機に瀕している事実を広く知ってもらうこと、野生動物との関わり方、生物多様性の大切さを伝える企画を外部機関と協働で実施しました。新たにみなとみらい本町小学校6年生のSDGsの取組を紹介するブースも出展しました。野生動物の現状を伝えるパネル展示も実施し、パネル展とブース展を回って動物たちのSOSを知りながらSDGsの達成を参加者と一緒に考えていけるクイズラリーを実施しました。	3月1日～31日	1,134人

(エ) 金沢

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
ズーレンジャー クイズラリー	絶滅危惧種をテーマに園内をめぐるクイズラリーを実施しました。 R3～R5の間、パネルの設置場所を園内各所と園内1か所にそれぞれ設置した結果、園内各所に設置した方が来園者はパネルの存在に気づきやすく、教育効果が高いことがわかりました。	4月29日～ 7月2日	53,975人
パパとママの動物園講座（オンライン）	全国の動物園4園（天王寺動物園、智光山公園こども動物園、盛岡市動物公園 ZOOMO、金沢動物園）が連携した、小学生以下の子どもがいる家族を対象に人の暮らしと動物のつながりを学ぶオンライン連続講座を実施しました。	7月8日、 9月11日、 10月22日、 1月26日	29名
夏の企画展「身近ないきものを 知ろう」	身近に見られる生きものたちの解説パネルと、身近に観察できる昆虫の生態展示を実施しました。 来園者インタビューの結果、園内各所に設置した「身近な生きものと生息環境パネル」についての発話が多くみられ、ズーレンジャークイズラリーと同じく、園内各所に多数パネルを置くことが来園者の目につき、内容を記憶する要因になることがわかりました。	7月15日～ 8月27日	—
Zoo to wildセミナー「ニホンライチョウ」	野生ニホンライチョウの写真家による講演と、飼育下個体（スバルバルライチョウ）の観察会を実施しました。 参加者アンケートの結果、写真や写真家について、保全や生態についての記載が多くみられたことから、プロの写真のビジュアルの威力や生息域での生の生態観察から得た写真家の洞察力から、参加者の保全や生態への興味関心も引き出すことができたと考えられました。	12月9日	36人
動物園の野良しごと～山の手入れをしよう～	SDGsを意識しながら動物園で実践している環境保全活動を、わかりやすく普及するプログラムを実施しました。今年度からパネル展示だけでなく参加者体験型のイベントも初開催しました。	2月11日～ 2月26日 （パネル展） 2月11日 （体験イベント）	7人（体験イベント）

その他、一般来園者を対象とした教育プログラムは、以下の6種をコロナの状況を見ながら実施しました。

園名	プログラム名	概要
3園	動物ガイド	飼育員による動物の生態・行動に関するガイドを実施しました。 ・とっておきタイム（よこはま） ・お食事タイム（野毛山） ・わくわくタイム（金沢） 等
よこはま	ガイドツアー	動物の餌を準備する台所等を見学するガイドツアーとともに、昨年度に引き続きバックヤードに入らずに餌を通して動物について学べる「動物園の台所」を実施した他、動物の解説を聞ける特別な園内案内（ウォーキングツアー）を実施しました。
	ズーラシア どうぶつ教室	動物たちの裏話や動物に関連するクイズや工作等、楽しく参加していただけるワークショップや講座を実施しました。
	バードショー	鳥の飛行能力を体感できるバードショーを実施しました。
野毛山	ガイドツアー	「動物病院ガイドツアー」、「動物園の台所ツアー」を、事前申込制で実施しました。
金沢	ののほな教室	園内の草花や発生材等を活用した工作や炭焼き体験などにより、子どもたちが自然の豊かさと自然循環を体感できる教室を開催しました。

(3) 調査・研究などに対する取組

大学や研究機関と協力して動物に対する科学的な知識を深め、その情報を多くの方々と共有し、野生動物の保全に貢献しました。

① 日本をリードする取組

よこはま動物園では、国内でも例の少ないオカピの麻酔、17年ぶりに成功したウーリーモンキーの繁殖等をテーマに研究発表を行うとともに、レッサーパンダの繁殖推進を目的に国内動物園における人工哺育の現状や課題について調査し発表しました。また、当協会3園職員の共著者として「Body Shape Analysis in Reticulated Giraffe, Okapi, and Black Rhinoceros Using Three-Dimensional Laser Measurements」の論文が、動物園植物園の総合学術誌である「Journal of Zoological and Botanical Gardens」に掲載され、全世界へ成果を共有・発信することができました。

② 繁殖センター及び大学等外部機関との積極的な連携

大学や研究機関等との共同研究を通じて、効果的な研究を進めることができるよう取り組みました。特に、よこはま動物園では、繁殖の推進が求められているツシマヤマネコ、ホッキョクグマ、クロサイ等を対象に、繁殖センターとの共同研究により糞中ステロイドホルモンの測定、分析を行い、繁殖に向けた取組を計画的に進めました。

【共同研究件数】

園名	大学等外部機関との 研究件数（前年度比）	繁殖センターとの 研究件数（前年度比）
よこはま	16件（+9件）	14件（+2件）
野毛山	14件（+3件）	2件（±0件）
金沢	23件（+5件）	2件（±0件）
計	53件（+17件）	18件（+2件）

【大学等外部機関との主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	日本大学	マレーバクを対象とした行動学的調査
	帝京科学大学	飼育員やエンリッチメントアイテムによるホッキョクグマの行動の変化
野毛山	東京農業大学	ミナミコアリクイの生殖生理に関する調査について
	人間総合科学大学	飼育下霊長類における他者認知・自己認知に関する調査について
金沢	日本大学	アジアゾウを対象とした自動給餌機の作製とその効果の検証
	一橋大学	デザイン思考を用いた動物園の魅力向上策の研究

【繁殖センターとの主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	繁殖センター	スマトラトラの糞中性ステロイドホルモンの測定
	岐阜大学	テングザルの繁殖生理に関する研究
野毛山	繁殖センター	なかよし広場のモルモットにおけるストレス評価（休園日、通常プログラム、出張授業との比較）
	岐阜大学	カメ類の親子判定
金沢	繁殖センター	糞中の性ステロイドホルモン含量を指標としたアラビアオリックスの性周期のモニタリング
	繁殖センター	糞中ホルモン測定によるカモシカの発情周期調査

③ 研究発表・論文投稿

調査・研究で得られた成果等を3園の職員間で共有するため、飼育研究会を各園で開催し、その成果を動物園研究会報として発行しました。また、顕著な成果については、学会等での発表や論文投稿に取り組みました。

【口頭発表・論文投稿件数】

園名	口頭発表件数（前年度比）	投稿記事、論文投稿件数（前年度比）
よこはま	9件（-6件）	2件（±0件）
野毛山	7件（±0件）	1件（-1件）
金沢	11件（+1件）	1件（-1件）
計	27件（-5件）	4件（-2件）

【口頭発表のテーマ例】

園名	発表先	テーマ
よこはま	第 71 回動物園技術者研究会	オカピの麻酔について
	第 25 回関東東北・北海道ブロック動物園水族館合同技術者研究会	園内の自然を活用したプログラムと今後の課題
野毛山	第 33 回日本動物園水族館両性爬虫類会議	JAZA 加盟園館におけるハウシヤガメの個体数変動
	第 26 回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会	ミナミコアリクイの自然哺育
金沢	日本広報学会第 29 回研究発表全国大会	動物園のパブリック・リレーションズにおける広報機能の重要性ー存在意義の乖離を埋めるコミュニケーション戦略とはー
	第 5 回動物園水族館大学シンポジウム	横浜市立金沢動物園が大学と共同で行ったインドゾウの行動調査 13 年の軌跡

【投稿記事・論文発表】

園名	発表先	テーマ
よこはま	Animals 2024, 14(4), 571	Reproductive Seasonality, Estrous Cycle, Pregnancy, and the Recurrence of Postpartum Estrus Based on Long-Term Profiles of Fecal Sex Steroid Hormone Metabolites regarding Zoo-Housed Female Golden Takins (<i>Budorcas taxicolor bedfordi</i>) 動物園飼育下ゴールデンターキンのメス群における糞中性ステロイドホルモン代謝物の長期分析に基づく季節繁殖性、発情周期、妊娠、産後発情回帰
	神奈川虫報 第 211 号	横浜市北西部ほかでアカアシオオアカミキリを採集
野毛山	Journal of Zoological and Botanical Gardens. 2024, 5(1), 80-89;	Body Shape Analysis in Reticulated Giraffe, Okapi, and Black Rhinoceros Using Three-Dimensional Laser Measurements 測定器を用いたキリン、オカピ、クロサイの体系測定について
	Anatomical Science International	The red ruffed lemur, <i>Varecia rubra</i> ; a comparative morphology investigation of lingual papillae and connective tissue cores アカエリマキツネザル: 舌乳頭および結合組織コアの形態比較研究
金沢	爬虫両棲類学会報 2023 (1) 52-55	神奈川県三浦半島における国内外来種モリアオガエルの食性

④ 研究成果の市民、来園者等への積極的な発表や還元

3動物園で行っている調査・研究の成果を市民向けに公開飼育研究会として開催しています。令和5年度は、野毛山動物園セミナーと同日に開催し、大学と実施している共同研究の内容やその意義についても発信することができました。

また、よこはま動物園では、モウコノウマの保全に関わる研究者と飼育担当者による講演会や、ホッキョクグマの写真家と飼育担当者による講演会を実施、金沢動物園ではニホンライチョウの写真家による講演会と飼育個体の観察会などを行いました。

5 施設等の維持管理

(1) 施設及び設備の維持管理

体制の整備や情報共有の仕組みの強化、作業計画やマニュアル類の整備等を推進し、全ての園内施設について仕様を十分に理解した維持管理業務を実施しました。

修繕は、劣化状況を確認するとともに施設全体の状況を考慮し、最適な修繕方法を選択しました。過去の修繕状況を把握し、計画的に維持管理を行うことで施設・設備の長寿命化を図りました。そのほか今後の適切かつ円滑な施設修繕等に役立てるため、よこはま動物園の設備台帳を作成しました。また、手すりや看板、ベンチの再塗装・更新など、利用者が快適・安全に過ごせるような維持管理を積極的に行いました。

【主な取組】

園名	概要
よこはま	設備台帳作成、第1～4ゾーントイレ照明LED化、総合案内板他更新 等
野毛山	キリン・シマウマ展示場排水管改修、展望地区スロープ手摺板更新 ペンギン舎薬品タンク防液堤修繕、散策地区竹垣修繕、万騎が原動物園管理棟・鶏舎照明LED化 等
金沢	ニホンカモシカ舎照明LED化、オムツ交換台交換、テーブルベンチ更新 等

① 3園が連携した維持管理体制を確立

「安全・安心の確保」を維持管理の最優先課題とし、組織的に取り組む体制を確立しました。

② 維持管理計画（修繕計画含む）に基づく計画的な業務

各園の維持管理実施計画に基づき計画的に業務を遂行しました。

【修繕作業・工事实績】

園名	件数	
	令和5年度	令和4年度
よこはま	130件	126件
野毛山	53件	46件
金沢	89件	119件
計	272件	291件

③ 高水準な維持管理を確保するマニュアルの整備

公園施設点検マニュアル等、各種マニュアルを定期的に改訂作成し、確実に業務を履行する事で高水準な維持管理を確保しました。

④ コスト削減を可能にする維持管理

安全やサービス水準の確保を前提に、大規模修繕につながらないようにこまめな修繕を重ねることでコスト削減に取り組みました。

【主な修繕実績】

園名	主な修繕
よこはま	無線アンテナ更新、管理棟冷温水発生機修繕、ウミドリ展示場床面改修、ホッキョクグマ舎日除け修繕、オナガザル舎天窗開閉用オペレーター修繕、ゾウモニュメント再塗装修繕、ゾウ観覧台屋根応急修繕 等
野毛山	ペンギン舎薬品タンク防液堤修繕、散策地区竹垣修繕、万騎が原動物園管理棟・鶏舎照明 LED 化 等
金沢	ローラー滑り台・ネットクライム修繕、遊具斜面修繕、ののほな館冷温水発生機燃焼装置修繕、オリックス舎寝室床修繕、ゾウ舎自動ドア外構修繕 アマミトゲネズミ、ニホンライチョウの展示開始に伴う施設改修 等

(2) 園地及び遊具等の維持管理

「安心」「快適」で、「憩いと安らぎを提供する場」として植物等を活かした魅力づくりを行いました。また、緑や生物の多様性を守り、市民が自然に親しみ知識を深められるよう高水準な維持管理を行うことにより、各園の魅力を高めました。

特にナラ枯れについては、拡散防止及び利用者の安全確保を目的とし、枯損木の適切な処理を重点的に実施しました。

【主な取組】

園名	概要
よこはま	林床植物に配慮した草刈り、サクラの支柱再設置、野鳥等に配慮した池周辺の管理
野毛山	外周部除草、利用頻度に合わせた草刈り、バラの育成管理
金沢	遊具修繕及び再塗装、高木剪定、園内各所舗装修繕、園内看板の更新、萌芽更新のための台場切り

① マニュアル等による高水準な維持管理の確保

マニュアル等により高水準な維持管理を確保しました。また、横浜市内の官公需適格組合「横浜市グリーン事業協同組合」との連携による効率的・効果的な維持管理を行いました。

② 園地の維持管理（快適な園地環境の提供）

清掃業務を適切に実施しました。また、調整池・修景池、園路・広場、トイレ等の機能を損なうことなく、ゴミのない快適な空間を維持するよう、適正管理しました。老朽化した施設には修繕を行い、特に看板等の案内機能の修繕を図りました。

③ 植栽等の育成管理

植栽の管理方法やポイントを定めた「植栽マニュアル」や、「植物年間作業計画」により、作業漏れ・ミス防止と、高水準な植栽管理を実現しました。また、サクラ、マツ、ナラ類等の病虫害発生や生育障害をできる限り防止しまし

た。なお、作業は騒音等飼育動物に最大限配慮するほか、市の「公園緑地等維持業務共通仕様書」に準拠した形で、適正に図面・作業記録の作成・保管を行いました。

④ 遊具施設の維持管理

遊具は、危険箇所、壊れた部品がないか、不具合がないか、近いうちに支障が生じる場所はないか等、安全面に十分配慮し、毎月の点検を実施しました。また、公園施設製品安全管理士による遊具詳細点検も実施し、指摘箇所は横浜市と相談し、早急に対応しました。点検結果はすみやかに市へ報告しました。

(3) 施設及び設備等の安全対策

利用者の安心、安全の利用環境を提供するため、定期点検等を実施しました。また、予防保全及び速やかな修繕が実施できるよう、よこはま動物園の設備情報をまとめた設備台帳を作成しました。

【点検実施実績】

園名	点検名	実施回数等
3園	日常点検	毎開園日
	定期点検	年4回
	法定点検	設備に応じた点検頻度
	臨時点検・緊急点検	適宜
	建築物点検	年1回
	設備点検	設備に応じた点検頻度

① 施設及び設備等の安全対策の基本的な考え方

不具合の未然防止・早期発見のため、公園施設点検マニュアルを整備し、これに基づく点検を実施しました。

② 施設の安全対策

安全性と快適性を特に重視し、維持管理を実施しました。定期点検は、「公園施設点検チェックシート」を使用して実施し、結果を市に報告しました。

6 管理運営経費

(1) 算定の考え方

以下の通り、収入の増加と管理運営経費の削減に取り組みました。

① 収入増加の取組

各種広報、地域連携活動やイベントの実施により、積極的に集客対策に取り組みました。既存の協賛企業の継続と新規協賛の獲得に努め、よこはま動物園は7社、野毛山動物園は1社と協賛契約を締結しました。また、動物の飼育環境改善や園内施設の改修に充てる費用として、アニマルペアレント制度や野毛山動物園募金、クラウドファンディング等外部資金を活用しました (P. 22～23 参照)。

このほか、3園のショップ・レストランの運営事業者と調整の上、世界○○の日と連携した商品開発等を行いコロナの影響により低下した売り上げを補うための収益増加に努めました。

② 経費削減の取組

3園一体での共同発注や発注方法や契約内容の見直しを行うことで経費の削減に取り組み、効率化を図りました。

【主な三園共同発注】

園地管理業務	動物用飼料	消耗品購入
園内清掃業務	施設賠償責任保険	フローアマット交換業務
警備・窓口等業務	自動車任意保険	利用者アンケート集計・分析
消臭芳香器交換業務	廃棄物処理業務	

③ コストバランスへの配慮

コスト削減に取り組む一方、動物園の役割や適切な質を維持するための予算を確保しました。原則として、横浜市中心企業振興基本条例を踏まえながら、横浜市緑の協会経理規程に則って入札等の方法により調達しました。

④ 委託

物販・飲食業務、園地管理業務等、直営と比較し、専門業者へ委託する方が効果的、効率的と判断された業務については、委託により実施しました。

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 円)

科 目	増減					収益事業等会計		内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計	経営事業	法人会計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	70,500	70,500	0	0		70,500
基本財産受取利息	0	0	0	70,500	70,500	0	0		70,500
特定資産運用益	23,599,533	0	0	0	23,599,533	0	462,493		24,062,026
特定資産受取利息	23,599,533	0	0	0	23,599,533	0	462,493		24,062,026
事業収益	0	1,313,647,208	2,961,883,936	0	4,275,531,144	1,410,204,039	0		5,685,735,183
事業収益	0	1,313,647,208	2,961,883,936	0	4,275,531,144	1,410,204,039	0		5,685,735,183
受取補助金等	2,330,000	342,463	1,500,000	0	4,172,463	0	0		4,172,463
受取横浜市補助金	2,330,000	0	0	0	2,330,000	0	0		2,330,000
受取民間助成金	0	0	1,500,000	0	1,500,000	0	0		1,500,000
受取補助金等振替額	0	342,463	0	0	342,463	0	0		342,463
受取負担金	0	0	0	0	0	50,433	0		50,433
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	50,433	0		50,433
受取寄付金	6,974,525	2,291,151	29,516,400	0	40,782,076	0	0		40,782,076
受取寄付金	6,974,525	1,863,611	649,400	0	11,507,736	0	0		11,507,736
受取寄付金振替額	0	407,340	28,867,000	0	29,274,340	0	0		29,274,340
雑収益	1,686,404	641,148	432,575	0	3,162,127	6,455,316	1,263,470		10,900,915
受取利息	4	0	0	0	4	509	0		513
雑収益	1,686,400	641,148	432,575	0	3,162,123	6,454,809	1,263,470		10,900,402
経常収益計	36,792,462	1,317,121,970	2,993,332,911	70,500	4,347,317,643	1,416,709,790	1,765,963	0	5,765,793,596
(2) 経常費用									
事業費	67,541,339	1,453,079,003	3,191,366,442	0	4,731,986,784	1,034,923,333			5,766,910,117
役員報酬	224,755	766,643	1,067,587		2,078,965	505,700			2,584,685
役員賞与	36,000	126,000	171,000		333,000	61,000			414,000
給料手当	29,551,292	310,203,907	667,191,752		1,226,946,951	139,323,221			1,366,270,172
賞与引当金繰入額	2,619,730	25,674,019	72,666,402		101,360,151	6,134,359			107,494,510
賞金	6,296,520	212,669,543	52,485,657		271,453,920	76,639,209			350,293,129
退職給付費用	1,713,509	6,625,341	49,176,591		57,515,441	4,161,663			61,677,324
法定福利費	6,611,063	72,353,962	158,702,642		237,667,667	27,925,500			265,593,387
福利厚生費	326,296	6,747,913	6,221,586		13,295,795	1,000,764			14,296,559
教育研修費	187,709	1,494,505	1,561,099		3,263,313	333,596			3,596,911
旅費交通費	552,641	2,649,061	6,329,139		9,730,641	1,197,471			10,928,312
通信運搬費	579,714	7,693,078	6,574,139		14,846,931	2,696,916			17,745,649
減価償却費	160,077	3,675,495	20,117,571		23,953,143	27,966,340			51,941,483
公共施設負担金償却費	0	0	0		0	26,371,464			26,371,464
消耗什器備品費	1,102,468	3,334,418	3,376,641		7,813,547	1,066,715			8,880,262
指定管理対象財産購入費	0	632,630	6,570,340		9,203,170	0			9,203,170
消耗品費	11,995,559	41,339,337	195,726,221		249,061,117	7,366,595			256,447,712
稼働費	7,426	42,419,413	93,778,080		136,204,919	10,423,155			146,628,074
印刷製本費	54,111	3,546,507	11,266,636		14,869,456	5,975,425			20,844,681
燃料費	36,210	2,424,714	2,359,124		4,822,048	96,807			4,920,655
光熱水料費	363,042	152,535,037	351,065,995		503,964,074	16,667,331			522,621,405
賞借料	3,046,406	20,205,514	38,220,690		61,474,610	67,659,169			129,333,999
管理許可使用料	0	0	0		0	240,922,996			240,922,996
保険料	15,443	1,723,622	1,612,689		3,352,154	2,056,967			5,411,141
諸謝金	674,746	9,445,677	4,322,726		14,443,353	295,242			14,738,595
交際費	3,560	68,443	107,641		199,644	0			199,644
渉外費	0	431,420	154,366		585,806	0			585,806
諸会費	0	114,000	4,062,014		4,196,014	192,500			4,388,514
租税公課	116,231	48,706,632	110,702,055		159,526,918	61,293,241			220,820,159
支払負担金	9,405,900	4,210,400	1,661,059		15,277,359	133,142			15,410,501
支払助成金	5,725,261	111,000	0		5,836,261	0			5,836,261
支払寄付金	0	0	626,405		626,405	0			626,405
委託費	5,635,733	466,895,770	1,069,633,979		1,542,565,482	255,020,640			1,797,586,122
手数料	166,539	611,696	10,426,669		11,427,126	5,919,429			17,346,555
広告費	105,336	1,250,794	20,779,453		22,135,583	211,926			22,347,509
仕入代金	0	0	0		0	39,300,714			39,300,714
雑費	0	1,751,710	1,250		1,752,960	1,345,850			3,098,610
管理費									
役員報酬							40,176,159		40,176,159
役員賞与							9,904,435		9,904,435
給料手当							1,646,000		1,646,000
賞与引当金繰入額							9,334,172		9,334,172
賞金							636,112		636,112
退職給付費用							454,912		454,912
法定福利費							774,925		774,925
福利厚生費							2,115,336		2,115,336
教育研修費							266,090		266,090
旅費交通費							145,229		145,229
通信運搬費							197,046		197,046
減価償却費							461,516		461,516
消耗什器備品費							96,766		96,766
消耗品費							19,966		19,966
稼働費							1,232,676		1,232,676
印刷製本費							7,362		7,362
燃料費							125,390		125,390
光熱水料費							1,797		1,797
賞借料							360,681		360,681
保険料							2,332,201		2,332,201
諸謝金							3,164		3,164
交際費							3,445,675		3,445,675
							558,666		558,666

科 目						収益事業等会計	法人会計	内部取引等	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計	経営事業	消去		
渉外費							60,583		60,583
諸会費							514,800		514,800
租税公課							81,742		81,742
支払負担金							287,960		287,960
支払助成金							504,000		504,000
委託費							4,093,971		4,093,971
手数料							185,429		185,429
広告費							104,709		104,709
經常費用計	87,541,339	1,453,079,003	3,191,366,442	0	4,731,986,784	1,034,923,333	40,176,159	0	5,607,086,276
評価損益等調整前当期經常増減額	△50,746,877	△135,957,033	△198,033,531	70,500	△384,866,941	381,786,457	△36,410,196	0	△41,292,680
基本財産評価損益等	0	0	0	△58,774	△58,774	0	0	0	△58,774
特定資産評価損益等	△4,295,644	0	0	0	△4,295,644	0	△660,000	0	△4,955,644
評価損益等計	△4,295,644	0	0	△58,774	△4,352,418	0	△660,000	0	△5,012,418
当期經常増減額	△55,044,521	△135,957,033	△198,033,531	13,726	△389,021,359	381,786,457	△39,070,196	0	△46,305,098
2. 經常外増減の部									
(1) 經常外収益									
經常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 經常外費用									
固定資産除却損	0	2	19,399	0	19,401	73,133	0	0	92,534
經常外費用計	0	2	19,399	0	19,401	73,133	0	0	92,534
当期經常外増減額	0	△2	△19,399	0	△19,401	△73,133	0	0	△92,534
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△55,044,521	△135,957,035	△198,052,930	13,726	△389,040,760	381,713,324	△39,070,196	0	△46,337,632
他会計振替額	0	0	0	371,441,793	371,441,793	△409,601,676	36,359,685	0	0
うち収益の繰入				371,441,793	371,441,793	△371,441,793	0	0	0
うち資産の移転				0	0	△38,359,685	36,359,685	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△55,044,521	△135,957,035	△198,052,930	371,455,519	△17,596,967	△28,066,354	△710,311	0	△46,397,632
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	292,500	0	0	292,500
当期一般正味財産増減額	△55,044,521	△135,957,035	△198,052,930	371,455,519	△17,596,967	△28,360,854	△710,311	0	△46,690,132
一般正味財産期首残高					265,337,364	2,601,672,053	4,477,604	0	3,071,487,021
一般正味財産期末残高					247,736,397	2,773,291,199	3,767,293	0	3,024,796,889
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金	5,191,372	209,423	30,582,174	0	35,982,969	0	0	0	35,982,969
基本財産評価損	0	0	0	28,726	28,726	0	0	0	28,726
特定資産評価損	22,364,696	0	0	0	22,364,696	0	0	0	22,364,696
一般正味財産への振替額	0	△749,603	△28,867,000	0	△29,616,603	△50,433	0	0	△29,667,236
当期指定正味財産増減額	△17,173,324	△540,380	1,715,174	△28,726	△16,027,256	△50,433	0	0	△16,077,689
指定正味財産期首残高					2,548,577,433	50,442	0	0	2,548,627,875
指定正味財産期末残高					2,532,550,177	9	0	0	2,532,550,186
III 正味財産期末残高					2,780,286,574	2,773,291,206	3,767,293	0	5,557,347,075

【参考資料】

1 広報印刷物実績

<3園>

発行時期	広報印刷物名
令和5年7月	よこはま夜の動物園 2023 ポスター B1 版 203 枚、B3 版 4,008 枚

<よこはま>

発行時期	広報印刷物名
令和5年4月	クラウドファンディング用チラシ 5,000 部
令和5年6月	イベントガイド夏号 30,000 部
令和5年7月	夏イベントポスター B1判 263 部、B3判 2,463 部 夏イベントチラシ A4判 30,760 部 ナイトズーラシア専用マップ A4判 30,000 部
令和5年8月	ドリームナイトアットザズー専用マップ A4判 1,000 部 園内マップ 日本語版 180,000 部、外国語版 5,000 部
令和5年9月	秋イベントポスター B1 判 261 部、B3 判 2,473 部 イベントガイド秋号 50,000 部
令和5年 12 月	冬イベントポスター B1 判 274 部、B3 判 2,468 部 イベントガイド冬号 30,000 部
令和6年 1 月	園内マップ 外国語版 6,000 部
令和6年2月	園内マップ 日本語版 200,000 部
令和6年3月	春イベントポスター B1 判 259 部、B3 判 2,469 部 イベントガイド春号 50,000 部

<野毛山>

発行時期	広報印刷物名
令和5年4月	園内マップ 20,000 部(日本語版)、園内季刊誌ふおし〜ず〜ん 夏号 第 100 号 1,000 部、のげやまどうぶつえんだより 初夏号 200 部
令和5年7月	野毛山動物園秋イベントポスター B1判 68 部・B3判 1,521 部、園内マップ 20,000 部(日本語版)、のげやまどうぶつえんだより 夏号 200 部
令和5年8月	園内季刊誌ふおし〜ず〜ん 秋号 第 101 号 1,300 部、のげやまどうぶつえんだより 秋号 500 部
令和5年 10 月	野毛山動物園冬イベントポスター B1判 72 部・B3判 1,503 部、のげやまどうぶつえんだより 冬号 300 部
令和5年 11 月	園内マップ 20,000 部(日本語版)、園内季刊誌ふおし〜ず〜ん 冬号 第 102 号 1,000
令和6年1月	野毛山動物園春イベントポスター B1判 73 部・B3判 1,521 部、のげやまどうぶつえんだより 冬号②300 部
令和6年2月	園内季刊誌ふおし〜ず〜ん 冬号 第 102 号 150 部、のげやまどうぶつえんだより 春先取り号 500 部
令和6年3月	園内マップ 20,000 部(日本語版)、園内季刊誌ふおし〜ず〜ん 春号 第 103 号 1,200 部

<金沢>

発行時期	広報印刷物名
令和5年4月	金沢動物園だより4月号 300部
令和5年5月	金沢動物園だより5月号 350部、園内マップ 40,000部
令和5年6月	金沢動物園だより6月号 200部
令和5年7月	金沢動物園だより7月号 250部
令和5年8月	金沢動物園だより8月号 300部、秋ポスター-B1版 145部・B3版 1,370部
令和5年9月	金沢動物園だより9月号 350部
令和5年10月	金沢動物園だより10月号 400部
令和5年11月	金沢動物園だより11月号 400部、冬ポスター B1版 145部・B3版 1,290部
令和5年12月	金沢動物園だより12月号 250部、園内マップ 25,000部
令和6年1月	金沢動物園だより1月号 250部
令和6年2月	金沢動物園だより2月号 300部、春ポスター B1版 145部・B3版 1,300部
令和6年3月	金沢動物園だより3月号 350部、園内マップ 25,000部

2 ホームページでの情報発信実績

<3園>

名称	時期	内容
横浜の動物園での取組み	平成28年7月～	三園の情報を発信するサイト

<よこはま>

特設サイト

名称	時期	内容
ズーラシアナイトフェスタ	令和5年7月、8月	ナイトズーラシアと同時開催となるイベントについての見どころ等を紹介

ブログ

名称	時期	内容
飼育日誌	平成19年4月～	飼育担当者による動物たちの日常を紹介
ブログ de ズーラシア	平成19年5月～	イベントの様子や園内装飾、植物等ズーラシアの様々な情報を紹介
チンパンジーの森日記	平成21年3月～	チンパンジーの日常や関連イベントを紹介
すまとらとらブログ	平成26年9月8日～	スマトラトラの日常や子どもたちの成長記録
アフリカのサバンナ@ズーラシア	平成26年11月1日～	「アフリカのサバンナ」ゾーンの動物たちの日常や生態等を紹介
ばかばか広場	平成27年9月1日～	ばかばか広場のウマやモルモットたちの日常や生態、飼育やイベントについて紹介
ズーラシア春夏秋冬	令和3年4月1日～	飼育動物以外の園内で見られる動植物を紹介

<野毛山>

ブログ

名称	時期	内容
動物トピックス	平成 20 年4月～	野毛山に住む動物たちと、野毛山で毎日働いている飼育係や獣医師のトピックスを紹介
なかよしタイムズ	平成 20 年 12 月～	なかよし広場で飼育している動物の日々の様子を紹介
レプ担当のれぷブログ	平成 21 年5月～	爬虫類の日々の様子を紹介
みらいを見つめるチンパンジー	平成 23 年7月～	みなとみらい地区を望む野毛山の高台で生活するチンパンジーたちの日常をつづる
のげやまとらいおん ～ TRY ON～	平成 29 年6月～	トラ(現在はいない)とライオンの日々の様子を紹介
植物トピックス	令和5年 11 月～	園地管理担当が見ごろを迎えた動物園、公園の欲物を紹介

<金沢>

ブログ

名称	時期	内容
飼育こぼれ話	平成 17 年5月～	飼育員が担当動物について紹介(平成 22 年1月よりブログ化)
花情報	平成 17 年 10 月～	植物普及担当が季節の花について紹介
OH!カンガルー	平成 20 年 12 月～	オオカンガルーの個体紹介やトピックス
身近な自然といろんないきもの	平成 29 年5月～	身近ないきもの館の生きものや野生生物・植物について紹介
オオきなツノのヒツジの日記	令和2年8月～	オオツノヒツジの子の成長や群れの様子、生息地を訪れた様子について紹介
今週のイチオシ!	平成 25 年 12 月～	職員がとらえた直近のトピックスについて写真と短文で紹介

3 寄附を活用した展示場改修等の実績

<よこはま>

財源	概要
アニマルペアレント	メガネグマ展示場の渡り木・支柱の更新等
寄附	シシオザル及び、ウーリーモンキーの暖房小屋の設置
クラウドファンディング	ミナミアフリカオットセイ展示場の日よけ設置、陸場の整備、ミストの設置

<野毛山>

財源	概要
アニマルペアレント	チンパンジー猷舎に採血口設置、ミヤコカナヘビ展示場改修等
寄附	ダチョウ及びフラミンゴの展示場日よけ設置

<金沢>

財源	概要
アニマルペアレント	インドゾウ舎展示場排水改良工事等
寄附	オオツノヒツジ展示場日よけ設置

4 学校教育向けプログラム実績

<来園プログラム>

3園または2園

プログラム名	概要(コロナ拡大防止対応)	参加人数
① どうぶつ園のじゅうい	獣医の一日を紹介(DVDの貸し出しによる実施を含む)	1,072(よ) 1,194(野) 2,825(金)
② どうぶつの赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説	386(よ) 59(野) 539(金)
③ 動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	55(よ) 892(金)
④ 飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介	225(よ) 632(野) 1,004(金)
⑤ 職業体験	掃除や餌の準備、イベントでの接客等の体験	118(よ) 51(野) 89(金)
⑥ 職場見学	環境問題に取り組む動物園の役割を紹介	0(よ) 5(野) 6(金)
⑦ 職業インタビュー	動物園のスタッフに動物園の仕事についてのインタビュー	26(よ) 47(野) 6(金)

よこはま

プログラム名	概要	参加人数
① ズーラシアの飼育員	動物園の役割や飼育員の仕事内容等を解説	24
② 動物福祉の取組	よこはま動物園の特徴や動物福祉の取組等を解説	153
③ しっぽの使い方	動物のしっぽの使い方を紹介	163
④ オスとメスの違い	オスとメスの体の違いの説明	305
⑤ 色々な赤ちゃん	おとなと比較し、赤ちゃんだけの特徴のお話	222
⑥ 獣医師のお仕事	写真を用いて動物のケガや病気を説明	1,638
⑦ 獣舎バックヤードツアー	動物の寝室と飼料庫(餌置き場)に案内し、解説	2166
⑧ 動物園の概要	動物園の役割やよこはま動物園の特徴についての解説	136

金沢

プログラム名	概要	参加人数
⑨ 虫はかせになろう	昆虫の説明と身近な生き物の観察	190
⑩ 動物のほねときん肉	実物の動物たちに触れながら、動物の骨と筋肉について解説	2,652
⑪ ゾウのトレーニングガイド	ゾウのトレーニングの様子を、ガイドを聞きながら見学	廃止
⑫ ゾウの健康大作戦！ (ガイド)	ゾウが健康で長生きするための飼育の工夫を、飼育員がゾウを観察しながらガイド	1,074
⑬ キリンのおやつガイド	木の葉を食べるキリンの観察と飼育員の解説	873
⑭ 固有種が教えてくれること	日本の固有種と金沢動物園での固有種の保全活動について紹介	122
⑮ どうぶつとSDG s	動物園の社会的役割やゾウの飼育方法を題材に、動物園でのSDG sの取り組みを紹介	191

<出張プログラム>

3園

プログラム名	概要	参加人数
⑯ 動物の赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについての解説(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	854(よ) 173(野) 572(金)
⑰ 飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	1,145(よ) 1,027(野) 2,530(金)
⑱ 動物たちにズームイン	クイズを通じた動物の解説	299(よ) — (野) 352(金)
⑲ 職業講話	飼育員や動物園の仕事の解説	265(よ) 393(野) 791(金)

野毛山動物園

プログラム名	概要	参加人数
⑳ かんさつ名人になろう!	専用のワークシートを使用した、モルモットやハツカネズミ等とのふれあい方法、観察方法の解説	784

<先生方と内容を相談しながら作り上げるプログラム>

3園

プログラム名	概要	参加人数
動物園学習	学校の要望に合わせ、学習プログラムを用意(園内での対面、DVDの貸し出し、オンライン、電話、資料提供、園内での対面実施を含む。)1回の出張もしくは来園で実施するプログラム	136(よ) 0(野) 1,014(金)

連携授業	学校の要望に合わせ、動物の生態や動物園の役割等を先生や児童等と連携授業計画を作成。2回以上(原則1回以上来園)連続して実施するプログラム。(オンラインでの実施含む)	246(よ) 937(野) 673(金)
------	--	----------------------------

<小動物ふれあいプログラム>

野毛山

プログラム名	概要	参加人数
小動物ふれあいプログラム	モルモットやハツカネズミ等とのふれあいプログラム	6,569

6 動物園研究会実績

<よこはま> 12 題

発表日	タイトル	テーマ
6月14日	『世界オカピの日』イベントにおけるオンラインシンポジウムと教育グッズ製作の実施報告	教育普及
7月18日	シシオザルにおける動物福祉向上を目的とした取組み	シシオザル
9月12日	ウーリーモンキー、17年ぶりの繁殖について	ウーリーモンキー
9月19日	レッサーパンダの人工哺育に関する調査報告	レッサーパンダの人工哺育
9月29日	セスジキノボリカンガルーの腸内細菌叢について	セスジキノボリカンガルー
10月31日	インドゾウの直接飼育から準間接飼育への管理方法の移行	インドゾウの飼育方法
11月22日	オカピの麻酔について	オカピの麻酔
12月22日	ラクダライド 10年のまとめ	ラクダライド総括
1月17日	飼育下エランドのオス群れにおける闘争と親和的な行動の分析	エランド
1月17日	小学校低学年を対象にした教育普及プログラムで集中力を高める工夫について	教育普及プログラム
2月21日	よこはま動物園および周辺におけるトンボ相 2022-2023	生物調査
3月27日	クラウドファンディング実施報告～運営と広報について	クラウドファンディング

<野毛山> 12 題

実施日	タイトル	テーマ
4月28日	モルモットのターゲットトレーニングをやってみました	トレーニング
5月30日	ひょっとしてボクはサンペイの召使いですか？	行動
6月21日	鳥インフルエンザ対策 ダチョウ・フラミンゴの報告	鳥インフルエンザ対策
7月28日	動物達のSOS展 ミッションラリーを実施してみた	イベント
8月31日	新予約システム導入後のなかよし広場について	ふれあい
9月30日	令和5年度上半期の傷病鳥獣保護実績	傷病鳥獣
10月30日	JAZA加盟園館におけるホウシャガメの個体数変動	爬虫類
11月27日	鳥類が利用する野毛山公園について	ラインセンサス
12月30日	ミナミコアリクイの繁殖	繁殖

2月17日	動物病院ガイドツアー 今年度の総括とアンケートまとめ	アンケート
3月4日	ラージャーにシカ肉あげてみた	屠体給餌
3月30日	ピーコさんの57年とピーコさんから学んだこと	チンパンジー

<金沢> 15題

実施日	タイトル	テーマ
4月24日	イベント時に掲示する学習パネルの来園者の認知度について	教育普及
6月6日	金沢動物園で実施した外部団体との連携イベントについて	教育普及
8月16日	インドゾウ舎寝室の床材使用について	インドゾウ
9月22日	ヤギ展示場に設置した陸橋の利用頻度向上のための試み	ヤギ
9月24日	スーチョワンバーラルの効果的な捕獲及び保定について	スーチョワンバーラル
9月28日	アマミトゲネズミの繁殖経過	アマミトゲネズミ
10月15日	動物園のパブリック・リレーションズにおける広報機能の重要性 ー存在意義の乖離を埋めるコミュニケーション戦略とはー	広報
11月10日	第16回アジア保全医学会(ASCM)でのポスター発表報告	学会参加報告
11月27日	動物園の広報力を測るー広報オクトパスモデルを用いた分析からー	広報
11月22日	オオカンガルー繁殖再開に向けた時期の選定とペアリング実施結果	オオカンガルー
1月18日	世界サイの日イベントを通じた教育活動	教育普及
2月3日	金沢動物園で実施中のマーケティング・広報系共同研究の報告と進捗状況について	共同研究進捗
2月29日	中小企業診断士的に考えるー金沢動物園のみのNext Stageー	マーケティング
3月13日	ヤギ展示場に設置した陸橋の利用頻度向上のための試み 続き	ヤギ
3月19日	ニホンイノシシの搬出～イノッチ、富山へ～	ニホンイノシシ

令和5年度横浜市立動物園等管理運営経費収支

(1) 収入の部

(単位:千円)

事業収益等	よこはま動物園	野毛山動物園	金沢動物園	合計
・指定管理料	2,442,329			2,442,329
	1,153,506	494,071	794,752	
・利用料金	381,348	0	65,284	446,632
・横浜市による運営支援				0
・動物収集事業	12,481			12,481
・自主事業等	70,458	16,394	5,039	91,891
3園合計				2,993,333

(2) 支出の部

(単位:千円)

事業費	よこはま動物園	野毛山動物園	金沢動物園	合計
・指定管理事業	1,672,572	495,031	859,940	3,027,543
人件費	563,066	254,660	293,871	1,111,597
委託費	556,410	92,357	344,763	993,530
物件費	169,288	45,443	68,859	283,590
修繕費	52,441	10,482	28,440	91,363
光熱水料費	233,603	50,241	65,568	349,412
租税公課	51,140	26,840	32,314	110,294
一般管理費	46,624	15,008	26,125	87,757
・動物収集事業	12,481			12,481
・自主事業	116,304	12,431	22,607	151,342
3園合計				3,191,366